# 国分寺市健康增進計画 個別事業評価票

(令和2年度実績)

	基本目標		施策の方向性		事業		
	<b>本</b> 个口标		地來の万円圧	通番	事業名	ページ	担当課
			子どもから高齢者まで、ライフス	<b>★</b> 1	健康情報のポスター作成	5	
		1-1	テージに応じて、生活習慣病や 健康に関する正しい知識を身に	<b>★</b> 2	健康講座	5	
			つける	3	個別相談	5	
				★2(再)	健康講座	6	
		1-2	自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)	3(再)	個別相談	6	
				4	子どもの歯を守る連絡会	6	健康推進課
				5	健康診査(若年層, 30歳代, 生保等)	7	
	健康意識を高め、生			6	特定健康診査(国民健康保険、40歳以上)	7	
1	活習慣病の発症と重症化を予防する			7	後期高齢者医療健康診 査	8	
	VE 196 1 191 7 0			8	人間ドック・脳ドック(30歳 以上)	8	
				9	特定保健指導	8	
		1-3	自らの健康状態を把握するため に行動を起こす	10	糖尿病性腎症重症化予 防	9	保険年金課
				<b>★</b> 11	がん検診	9	
				12 結核検診	結核検診	9	
				13	肝炎ウィルス検診	9	健康推進課
				★14	歯科健診	10	
				<b>★</b> 15	40歳·60歳検診勧奨事業	10	

	基本目標 施策の方向性		施策の方向性	分野			事業		
	E7.11%		旭来等所任		77 ±1	通番	事業名	ページ	担当課
						★1(再)	健康情報のポスター作成	11	健康推進課
						★2(再)	健康講座	11	健康推進課
						16	「天平メニュー・国分寺ごはん」の 活用	12	健康推進課
						17-a		12	健康推進課
						17-b	栄養講座·食育講座	12	公民館課
						17-c		12	子育て相談室(子ども家庭支援センター)
						18	個別栄養相談	13	健康推進課
						19	離乳食講習会	13	健康推進課
						★20	両親学級・乳幼児健診など母子保 健事業での情報提供	13	健康推進課
						21	若い世代への食の情報提供チラシ 配布	13	健康推進課
						22	一般介護予防事業	14	高齢福祉課
						23	摂食指導	14	子育て相談室(こどもの発達 センターつくしんぼ)
				2-1-1	食育·栄養·食生 活「国分寺市食	24	給食を通じた乳幼児期の食育指導	14	子ども子育て事業課(保育 園)
					育推進計画」	25	保育園内における野菜等の栽培	15	子ども子育て事業課(保育 園)
						26	芋ほり等の農業体験	15	子ども子育て事業課(保育 園)
	健康的な生活習慣を身につける	2-1	すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			27	給食地域交流会	15	子ども子育て事業課(保育 園)
						28	①市民農園 ②市民農業大学	15	経済課
						29	援農ボランティア募集	16	経済課
						30	直売所マップの配布	16	経済課
2						31	地場産農畜産物の周知	16	経済課
						32	農業体験	17	経済課
						33	農業体験農園	17	経済課
						34	農業祭	18	経済課
						35	JA協賛調理教室	18	経済課
						36	児童館の料理教室	18	子ども子育て事業課(児童 館)
						37	食育指導	19	学務課
						★38-a	運動講座	20	子育て相談室(子ども家庭支援センター)
						<b>★</b> 38-b		20	健康推進課
						39	グループサークル団体登録	20	社会教育課
						40	プレイステーション整備・運営(野 外活動)	21	社会教育課
						41	スポーツ大会開催	21	スポーツ振興課
						42	スポーツ推進委員によるイベント	21	スポーツ振興課
				2-1-2	身体活動·運動	22(再)	一般介護予防事業	22	高齢福祉課
						43	地域生きがい交流事業	22	健康推進課
						44-a		22	健康推進課
						44-b		23	スポーツ振興課
						44-c	体育館等個人開放・団体貸出し	23	公民館課
						44-d		23	地域共生推進課
						44-e		23	協働コミュニティ課

	基本目標		施策の方向性				事業		
	金平口际	//B2K42231-312			7J±1	通番	事業名	ページ	担当課
						45	①総合相談 ②フリートーキング	24	子育て相談室(子ども家庭支援センター)
						46	メンタルヘルス講座	24	健康推進課
				2-1-3	こころの健康・休	<b>★</b> 47	メンタルヘルスチェックシステム「こ ころの体温計」	24	健康推進課
					' 養·睡眠	48	心の健康相談(精神保健相談)	25	障害福祉課
						49	妊産婦新生児訪問	25	健康推進課
						50	ゲートキーパー養成講座	25	健康推進課
						46(再)	メンタルヘルス講座	26	健康推進課
				2-1-4	飲酒	51	アルコール個別相談	26	健康推進課
				214	MA	★52	両親学級(妊娠中の飲酒のリスク を情報提供)	26	健康推進課
						★53	アルコールによる健康問題に関する情報提供	27	健康推進課
	健康的な生活習慣を身に	2-1	すべての人がより良 い生活習慣を身につ けるための支援	2-1-5	喫煙	★54	喫煙及び受動喫煙のリスクや禁煙 外来についての情報提供	28	健康推進課
						★55	両親学級(喫煙のリスクを情報提供)	28	健康推進課
						★14(再)	歯科健診	29	健康推進課
2						56	口腔機能向上健診	30	健康推進課
_	つける					★57	①乳幼児・2歳児歯みがきクラス ②成人講座	30	健康推進課
						58	歯科医療連携推進事業	30	健康推進課
						59	個別歯科相談	31	健康推進課
						60	歯と口の健康週間事業	31	健康推進課
						4(再)	子どもの歯を守る連絡会	31	健康推進課
				2-1-6	歯と口の健康	★15(再)	40歳・60歳検診勧奨事業	31	健康推進課
						22(再)	一般介護予防事業	32	高齢福祉課
						61-a		32	子ども子育て事業課(保育 園)
						61-b	歯科健診	32	学務課
						61-c		32	子育て相談室(こどもの発達 センターつくしんぼ)
						62	ほけんだよりの活用	33	子ども子育て事業課(保育 園)
						63-a		33	子ども子育て事業課(保育 園)
						63-b	歯みがき指導	33	学務課
						63-c		33	子育て相談室(子どもの発達 センターつくしんぼ)

	基本目標		施策の方向性		事業		
	<b>基</b> 中日 惊		他束の万円任	通番	事業名	ページ	担当課
				64	すくすくこくぶんじ	34	子ども子育て事業課 (保育園)
				65	①職場体験 ②センターまつり ③クリスマス会 ④小学生社会 科見学	34	子育て相談室(子ども家庭支援センター)
				66	ファミリー・サポート・センター事 業の広報活動	35	子育て相談室(子ども家庭支援センター)
		3-1	地域のつながり強化	67-a	出前講座	35	健康推進課
				67-b	出前講座	35	子ども子育て事業課 (保育園)
				67-c	出前講座	35	高齢福祉課
				68	自治会·町内会連絡会	35	協働コミュニティ課
				69	地域センターまつり(5館)	36	協働コミュニティ課
				70	地域センターだよりの発行協力	36	協働コミュニティ課
3	地域の中で健康づくりを活 性化する			71	自主グループとの連携、社協と の連携	37	高齢福祉課
	12107			72	地域センター登録団体の管理	37	協働コミュニティ課
				73	利用者協議会	37	協働コミュニティ課
				<b>★</b> 74	市民活動フェスティバル	37	協働コミュニティ課
		3-2	     地域での健康づくり活動の支援	75	スポーツ登録団体の管理	38	スポーツ振興課
			心場(の健康)(川山の人族	44(再)−a		38	健康推進課
				44(再)-b		38	スポーツ振興課
				44(再)-c	体育館等個人開放・団体貸出し	39	公民館課
				44(再)-d		39	地域共生推進課
				44(再)-e		39	協働コミュニティ課

	基本目標		施策の方向性	通番	事業			
	<b>基</b> 平日保		心束のガドロ		事業名	ページ	担当課	
				76		40	各課(健康推進課)	
			対象者・年齢層に応じた情報の 発信 4-2 社会状況やニーズに応じた適切 な情報内容	76		40	各課(子ども子育て事業課)	
				76	情報発信	40	各課(高齢福祉課)	
4	適切な情報を得られる環 境づくりをすすめる			76		40	各課(子育て相談室)	
			0-1	O'IN IN 1 1	76		40	各課(社会教育課)
				77	情報集約	40	健康推進課	
				77(2)	日日下以来小り	40	協働コミュニティ課	

基本目	標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方	向性	1-1子どもから高齢者まで,ライフステージに応じて,生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける
施策の	目標	生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康に悪影響を与えないようにするために、 どのような食品を選んだ方が良いかや、どの ような調理が必要かについての知識がある 人の割合『十分に・どちらかといえば知識が ある』	66.7%		『どちらかといえばない』と答えた人の半数が「知識がある」となった場合の数値

#### 今後の方向性・取組

子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて生活習慣や健康に関する正しい知識を身に付けられるよう、市広報等従来の手段における啓発を充実するとともに、駅や商業施設等との提携や情報通信メディアなどの活用など、日常生活の中で市民が健康に関する情報に触れられる機会の充実を検討していく。

通番	<b>★</b> 1	所管課		健康推進	課						
事業名	健康情報のポスター作成										
事業概要	市内薬局等に健康講	市内薬局等に健康講座や,食育などの情報をポスターにて掲示し,市民に広く周知する。									
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)					
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり					
モニタリング方法 と実施	市内薬局への聞き取り										
	実施										
T = 100 / T   T		A In a /r r									
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)					
市内薬局42か所・ 市施設7か所(公民 館等)に 前期,後期に1種類	市内薬局24か所(薬 剤師会会員)・市施 設7か所(公民館等) に 前期,後期に1種類					市内全薬局及び市 施設に、前期、後期 1種類ずつ年間を 通してポスターを掲					
ずつ掲示。	ずつ掲示。					示。					
「働き盛り」世代等 への取組	未実施										
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況					
今後の課題	連絡会等がなくなり市 薬剤師会登録薬局の みでの掲示だった。薬 剤師会等と相談し、掲 示箇所を増やしていく。										

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	   1-1子どもから高齢者まで,ライフステージに応じて,生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける 
施策の目標	生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける

	指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
غ ل ر	健康に悪影響を与えないようにするために、 でのような食品を選んだ方が良いかや、どのこうな調理が必要かについての知識がある 、の割合『十分に・どちらかといえば知識がある』	66.7%	NU 3//	『どちらかといえばない』と答えた人の半数が「知識がある」となった 場合の数値

#### 今後の方向性・取組

子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて生活習慣や健康に関する正しい知識を身に付けられるよう、市広報等従来の手段における啓発を充実するとともに、駅や商業施設等との提携や情報通信メディアなどの活用など、日常生活の中で市民が健康に関する情報に触れられる機会の充実を検討していく。

通番	<b>★</b> 2	所管課		健康推進	 課						
事業名	健康講座										
事業概要		生活習慣病予防や生活習慣改善に関する講座を実施する。 託児付講座や土日開催など,対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。									
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)					
取組区分の実績	■知識習得・情報提 供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり					
モニタリング方法 と実施	参加者へアンケート										
	実施										
平成30年度	実 績										
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)					
健康講座 年10回食育講座 年3回	健康講座 年7回 食育講座 年1回 (新型コロナウィルス 感染症拡大防止のた め4回中止。緊急事 態宣言中の1回は個 別対応で実施。)					健康講座 年10 回以上 全食育講座 年3 回以上					
「働き盛り」世代等 への取組	参加しやすい土日に 開催										
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況					
今後の課題	国・市の方針に従い実施可否を考え、状況に応じ講座形式ではない健康教育も検討していく。										
	後期計画(R2~R	6)の 後	期計画(R2~6)の取組	手法に対する評価を踏ま	ミネ 次期計画に反映す	ベきこと					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	   1-1子どもから高齢者まで,ライフステージに応じて,生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける 
施策の目標	生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける

	指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
غ ل ر	健康に悪影響を与えないようにするために、 でのような食品を選んだ方が良いかや、どのこうな調理が必要かについての知識がある 、の割合『十分に・どちらかといえば知識がある』	66.7%	NU 3//	『どちらかといえばない』と答えた人の半数が「知識がある」となった 場合の数値

#### 今後の方向性・取組

子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて生活習慣や健康に関する正しい知識を身に付けられるよう、市広報等従来の手段における啓発を充実するとともに、駅や商業施設等との提携や情報通信メディアなどの活用など、日常生活の中で市民が健康に関する情報に触れられる機会の充実を検討していく。

- <u>-</u>								
通番	3	所管課		健康推進	理			
事業名	個別相談	W Pak		IC M IL C.	,			
事業概要	電話・面接・訪問等に	電話・面接・訪問等による個別相談(保健・栄養・歯科)を実施。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (世間では、一意欲の形成 ・日本のでは、一日のでは、日本のでは、	□知識習得・情報提供 (共 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供□意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供□意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	相談後の反応							
	実施							
T # 00 F F	実 績							
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)		
保健相談: 249件 栄養相談: 43件 歯科相談: 48件	保健相談:284件(うち生活習慣病1件) 栄養相談:16件 歯科相談:30件					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況		
今後の課題	相談から実際に改善に つなげていくまでのプロ セスが課題である。健 康に関する情報を引き 続き発信していく。							
	/// #n=! == /	2) 2						
後期計画(R2~R6)の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと								

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-2自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)
	健康寿命を延ばす 定期的に健康をチェックするためにかかりつけ医療機関を持つ

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康寿命という言葉を知っている人の割合『言葉も意味も知っていた』	67.4%		健康寿命という言葉・意味を知っていて初めて健康寿命を延ばす行動がとれるため、ほとんどの人が知っている数値を目標とする
「かかりつけ」歯科医を持っている人の割合	54.3%	80%	ほとんどの人が定期的に歯と口の健康をチェックしている数値
「かかりつけ」医師を持っている人の割合	62.9%	67%	現状値よりも10%増やす

### 今後の方向性・取組

市民が健康寿命の意味について知り,健康づくりの行動を起こすようにするため,まず言葉の周知を行っていきます。 自らの健康に関心を持つことができるよう,具合が悪い時だけではなく日常的なヘルスチェックを行う習慣を小さい頃から身につけるための啓発を 行っていきます。

通番	★2(再)	所管課		健康推進	課	
事業名	健康講座					
事業概要	生活習慣病予防や生 託児付講座や土日開		講座を実施する。 叩しやすい工夫・テーマ	を取り入れて行う。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間では、一定一般である。 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へアンケート					
	実施					
平成30年度			令和6年度			
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
健康講座 年10回食育講座 年3回	健康講座 年7回 食育講座 年1回 (新型コロナウィルス 感染症拡大防止のた め4回中止。緊急事 態宣言中の1回は個 別対応で実施。)					健康講座 年10 回以上 食育講座 年3 回以上
「働き盛り」世代等 への取組	参加しやすい土日に 開催					
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	国・市の方針に従い実施可否を考え、状況に応じ講座形式ではない健康教育も検討していく。					

後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価 後期計画(R2~6)の取	双組手法に対する評価を踏まえ, 次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組	

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-2自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)
	健康寿命を延ばす 定期的に健康をチェックするためにかかりつけ医療機関を持つ

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康寿命という言葉を知っている人の割合 『言葉も意味も知っていた』	67.4%		健康寿命という言葉・意味を知っていて初めて健康寿命を延ばす行動がとれるため、ほとんどの人が知っている数値を目標とする
「かかりつけ」歯科医を持っている人の割合	54.3%	80%	ほとんどの人が定期的に歯と口の健康をチェックしている数値
「かかりつけ」医師を持っている人の割合	62.9%	67%	現状値よりも10%増やす

#### 今後の方向性・取組

市民が健康寿命の意味について知り,健康づくりの行動を起こすようにするため,まず言葉の周知を行っていきます。 自らの健康に関心を持つことができるよう,具合が悪い時だけではなく日常的なヘルスチェックを行う習慣を小さい頃から身につけるための啓発を 行っていきます。

通番	3(再)	所管課		健康推進	 課			
事業名	個別相談							
事業概要	電話・面接・訪問等による個別相談(保健・栄養・歯科)を実施。							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報が 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	相談後の反応							
	実施							
平成30年度		令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)		
保健相談:249件 栄養相談:43件 歯科相談:48件	保健相談:284件(うち生活習慣病1件) 栄養相談:16件 歯科相談:30件					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況		
今後の課題	相談から実際に改善に つなげていくまでのプロ セスが課題である。健 康に関する情報を引き 続き発信していく。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-2自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)
施策の目標	健康寿命を延ばす 定期的に健康をチェックするためにかかりつけ医療機関を持つ

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康寿命という言葉を知っている人の割合 『言葉も意味も知っていた』	67.4%		健康寿命という言葉・意味を知っていて初めて健康寿命を延ばす行動がとれるため、ほとんどの人が知っている数値を目標とする
「かかりつけ」歯科医を持っている人の割合	54.3%	80%	ほとんどの人が定期的に歯と口の健康をチェックしている数値
「かかりつけ」医師を持っている人の割合	62.9%	67%	現状値よりも10%増やす

#### 今後の方向性・取組

市民が健康寿命の意味について知り,健康づくりの行動を起こすようにするため,まず言葉の周知を行っていきます。 自らの健康に関心を持つことができるよう,具合が悪い時だけではなく日常的なヘルスチェックを行う習慣を小さい頃から身につけるための啓発を 行っていきます。

通番	4	所管課		健康推進	課			
事業名	子どもの歯を守る連絡会							
事業概要	市、関係機関等が連携	携し「子どもの歯とロ <i>0</i>	)健康づくり」に関する3	効果的な事業の推進を	図るための検討や協	義を行う。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	評価指標のアンケートを乳幼児健診, 小中学校等で実施							
	実施							
平成30年度		実績 令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)		
年2回開催	年2回開催(うち1回 書面開催)					年2回開催		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況		
今後の課題	活発な情報提供及び 情報共有、意見交換 の場となるような会の 進め方を検討							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

通番	5	所管課		健康推進	課		
事業名	健康診査(若年層, 30歳代, 生保等)						
事業概要	疾病の早期発見を目	的とし,若年層(25歳だ	<b>いら29歳)及び30歳代</b> (	(30歳から39歳)の市民	を対象に健康診査を乳	実施する。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	国保加入者の受診 率把握						
	実施						
			A 7- 0 1- 1-				
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
【若年層】 受診率1.62% 対象者数7,978人 受診者数129人 【30歳代】 受診率2.46% 対象者数16,334人 受診者数401人	【若年層】 受診率0.9% 対象者数8.291人 受診者数72人 【30歳代】 受診率2.7% 対象者数16,673人 受診者数448人 新型コロナウイルス感染 症対策のため4~5月中止					【若年層】 受診率1.62%以上 (平成30年度受診率 以上) 【30歳代】 受診率2.46%以上(平 成30年度受診率以 上)	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	子育て世代を含む若年 層も受診しやすい環境 の整備。コロナ禍にお いても必要な受診がで きるように周知						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

通番	6	所管課	所管課    健康推進課					
事業名	特定健康診査(国民健康保険、40歳以上)							
事業概要	40歳から74歳までの 実施する。	国民健康保険被保険	者を対象として、医療保	保険者が毎年度特定健	康診査等実施計画に			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	受診率の把握							
	実施							
T-*		^ T- 0						
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	· 令和6年度 (目標値)		
受診率41.59% 対象者数17,891人 受診数7,441人	受診率36.03% 対象者数17,228人 受診数6,207人 新型コロナウイルス感染 症対策のため5月中止。 受診期間(医療機関)を 一律2月末まで延長					受診率49.3%以上		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況		
今後の課題	受診環境・周知方法の 見直し。コロナ禍においても必要な受診ができ るように周知							
		0) 0						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

通番	7 所管課 健康推進課						
事業名	後期高齢者医療健康診査						
事業概要	後期高齢者医療制度 健診を実施する。	加入者(主に75歳以	上)を対象として、病気(	の早期発見・早期治療	を目的として、特定健康	東診査と同等内容の	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ●意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	受診率の把握						
	実施						
	実績						
平成30年度 (現状値)	 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
受診率54.63% 対象者数13,496人 受診数7,373人	受診率51.6% 対象者数14.176人 受診見込数7,320人 新型コロナウイルス感染 症対策のため5月中止。 受診期間を一律2月末ま で延長				、大型 IE /	受診率54.9%以上	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	周知方法の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように 周知						
後期計画(R2~R6)の							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

通番	8 所管課 健康推進課						
事業名	人間ドック・脳ドック(30歳以上)						
事業概要	生活習慣病の予防及び早期発見・早期治療を目的とし、30歳以上の市民を対象として人間ドック・脳ドックを実施する。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	受診者数の把握						
	実施						
T + 00 + +		۵۰۰۰					
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	· 令和6年度 (目標値)	
人間ドック 受診者数793人 脳ドック(6月導入) 受診者数273人	人間ドック 受診者数608人 脳ドック130人 新型コロナウイルス感染 症対策のため4~5月中 止					受診者数 ・人間ドック793人以 上(平成30年度受診 者数以上) ・脳ドック250人以上	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	利用申請,受診料受領 方法の見直し。 受診医療機関の拡充。 コロナ禍においても必 要な受診ができるよう に周知						
後期計画(P2 e.P6) の							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

通番	9 所管課 健康推進課						
事業名	特定保健指導						
事業概要	特定健康診査の結果、内臓脂肪症候群の予防改善に努める必要のある者を対象として、生活習慣改善の保健指導を行う。健診 結果により動機づけ支援と積極的支援に分かれる。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	アンケートの実施						
	実施						
T # 00 F #	実 績						
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	· 令和6年度 (目標値)	
特定保健指導実施 率15.8%	特定保健指導実施 率 16.0% うち, ICT面談率8.9% (10件)					特定保健指導実施 率16.7%以上	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	面談方法、周知・勧奨 方法等、工夫を行い受 診率を高めていく必要 がある						
後期計画(P2 - P6) の							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

通番	-						
事業概要 特定健康診査の結果、	通番	10 所管課 保険年金課					
□ 中間づくり □ 受け皿づくり □ でいま来実施 未実施 東非平成30年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 (目標値) をおも年度 (日標値) をおも年度 (日標値) では、令和5年度 の対象者については、令和5年度の対象者については、令和5年度の対象者については、令和5年度の対象者については、令和5年度の対象者については、令和5年度の対象者については、令和5年度の対象者については、令和5年度の対象を対しては、令和5年度の対象を対しては、令和5年度の対象を対しては、令和5年度の対象を対しては、令和5年度の対象を対しては、令和5年度の対象を対しては、令和5年度の対象を対しては、令和5年度の対象を対したのが進めたのの進物を次のする (日標値) を対象を対したのでは、今後の課題 を対しまれてきまます。 「働き盛り」世代等 の取組 を対しまれてきまます。 「働き盛り」ができまます。 「働き盛り」ができまます。 「働き盛り」ができまます。 「働き盛り」ができまます。 「働きなの事を対しまれてきまます。」 「働きなの事を対しまれてきまます。」 「働きなの事を対しまれてきまます。」 「働きなの事を対しまれてきまます。」 「働きなの事を対しまれてきまます。」 「働きなの事を対しまれてきまます。」 「したないの事を対しまれてきまます。」 「したないの事を対しまれている。」 「したないの事を対しまれている。」 「したないるいるないの事を対しまれている。」 「したないる、「したないる、「したないる」 「したないる」 「したないる」 「したないるいる、「したないるいる、「したないるいるないる。」 「したないるいる、「したないるないる。」 「したないる、「したないるないる。」 「したないる、「したないるないる。」 「したないるないるないる。」 「したないる 「したないる 「したないるないる 「したないる 「したないるないる 「したないるないる 「したないるないる 「したないるないるないるないる。」 「したな	事業名	糖尿病性腎症重症化	予防				
取組区分の実績 ■知識習得・情報提 供 □知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり □では回づくり □では回づくし □では回がし □では回づくし □では回びし □では回び	事業概要	特定健康診査の結果	,糖尿病性腎症重症	化のハイリスク者を対象	象として, かかりつけ医	と連携の上, 保健指導	を実施する。
世		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
接査結果の推移	取組区分の実績	供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり
平成30年度							
平成30年度 (現状値)       令和2年度       令和3年度       令和4年度       令和5年度       令和6年度 (実績値)         本事業は平成31年度 開始。そのときの対象 者は令和2年度後期以 降のためモニタリング 未実施。令和2年度の 対象者については、令 和3年度以降にモニタリングを行う。       継続して実施         「働き盛り」世代等 への取組       日標どおり進行して いる。       後期終了時(令和6 年度)の達成状況         各年度末までの 進捗状況評価       通知のあり方やかかり つけ医師の協力を得る ための通知発送のタイ       での連成状況		未実施					
(現状値) 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 (目標値) (目標値) ネ事業は平成31年度 開始。そのときの対象 者は令和2年度後期以降のためモニタリング 未実施。令和2年度の対象者については、令和3年度以降にモニタリングを行う。	TI #20 # #			実 績			<b>△</b> 110 左左
未実施		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
への取組	未実施	開始。そのときの対象 者は令和2年度後期以 降のためモニタリング 未実施。令和2年度の 対象者については、令 和3年度以降にモニタリ					継続して実施
進捗状況評価 いる。 年度)の達成状況 通知のあり方やかかり つけ医師の協力を得る ための通知発送のタイ							
今後の課題 つけ医師の協力を得る ための通知発送のタイ にあり通知発送のタイ にあり通知発送のタイ にあり通知発送のタイ にあり通知発送のタイ							
	今後の課題	つけ医師の協力を得る ための通知発送のタイ					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

<u> </u>							
通番	★11 所管課 健康推進課						
事業名	がん検診						
事業概要	各種がんの早期発見 胃・肺・大腸がんは40 乳がんは40歳以上(2	歳以上対象。	た検診。 がんは20歳以上(2年に	<b>二</b> 1回)対象。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	受診率の把握						
	実施						
		令和6年度					
平成30年度		実績         今和6年度					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(実績値)	(目標値)	
受診者数 胃がん1,483人 肺がん2,713人 大腸がん14,254人 乳がん2,223人 子宮がん2,520人	受診者数 胃がん1.172人 肺がん2.076人 大腸がん12.514人 乳がん2.144人 子宮がん1.919人 新型コロナウイルス感染 症対策のため4~5月中 止					平成30年度受診者 数以上	
「働き盛り」世代等 への取組	土日実施(胃がん検 診, 乳がん検診), 医療 機関により土曜実施 (子宮がん検診)						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	周知・募集時期の見直 し。コロナ禍においても 必要な受診ができるように周知						
		0) 01					
	後期計画(R2~R6)の						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	   1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こすて,生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける 
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

通番	12 所管課 健康推進課						
事業名	結核検診						
事業概要	結核の早期発見を目	的とした検診。18歳以	上を対象。				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ●意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	受診者数の把握						
	実施						
	実績						
平成30年度 (現状値)	一 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
受診者数77人	受診者数33人 新型コロナウイルス感染 症対策のため4~5月中 止 (健診同時実施12,203人)					受診者数60人以上	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	若い世代への周知。コロナ禍においても必要な受診ができるように 周知						
		6) 0					
後期計画(R2~R6)の							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

通番	13	所管課		健康推進	<u></u>	
事業名	肝炎ウィルス検診	別自味		(建尿证定)	<b>沐</b>	
<b>事</b> 未有	肝炎・ノイルへ快診					
事業概要	40歳以上で、過去に-	- 度も肝炎ウィルス検	診を受診したことのない	ハ市民を対象に実施す	る。	_
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ●意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	<ul><li>■知識習得・情報 提供</li><li>■意欲の形成</li><li>□スキルの習得</li><li>□仲間づくり</li><li>□受け皿づくり</li></ul>
モニタリング方法 と実施	40歳以上市民の 受検率					
	実施					
平成30年度	実 績					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	· 令和6年度 (目標値)
受診者数855人	受診者数387人 新型コロナウイルス感染 症対策のため4~5月中 止					受診者数855人以 上(平成30年度受 診者数以上)
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	周知・募集方法の見直 し。コロナ禍においても 必要な受診ができるよ うに周知					
	後期計画(R2~R	6)Ø	#### T (DO DO) 5 Th (	D - 7 \	+- \_++n=	
複類計画(R2~R6)が   後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ,次期計画に反映すべきこと   取組に対する評価						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

_							
通番	<b>★</b> 14	所管課         健康推進課					
事業名	歯科健診						
事業概要	・妊婦歯科健診:妊婦を対象に口腔内診査・歯みがき相談を実施。 ・乳幼児歯科健診:2歳半頃の幼児及び3歳半頃の幼児を対象に口腔内診査,仕上げみがきや幼児自身の歯みがき,フッ化物塗布(希望者)を実施。 ・成人歯科健診:歯科医師会医療機関にて,20歳以上の市民対象に口腔内診査,相談を実施。 ・高齢者歯科健診:歯科医師会医療機関にて,75歳以上の市民対象に,口腔機能に関する項目を含む口腔内診査,相談を実施。 ・口腔がん検診:視診による舌やその他口腔内粘膜の炎症や傷の検査を実施。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提 供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報技 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	成人歯科健診のアンケート では歯科保健行動につなが る項目をいれている。 妊婦歯科健診は今年度中止						
	実施						
T	実績						
平成30年度 (現状値)	一 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
受診者 ・妊婦167人 ・乳幼児(2歳半3歳 半)270人,予防処置 (フッ化物塗布)252人 ・成人900人 ・口腔がん59人	受診者数 ・妊婦の人 ・乳幼児(2歳半3歳半) 182人,予防処置(フッ化 物塗布)175人 ・成人1,070人 ・高齢者568人 ・口腔がん0人 <sup>妊婦歯科健節・口腔が人供診は新型コナラ</sup> 感染産能太下地のため中止					受診者数 ・妊婦170人 ・乳幼児(2歳半3歳 半)270人,予防処置 (フッ化物塗布)250人 ・成人825人 ・高齢者125人 ・口腔がん65人	
「働き盛り」世代等 への取組	特定健診対象者へ の案内継続 30,40,50,60,70歳への 個別勧奨継続						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	受診率向上にむけた周知・勧奨の継続及び効果的な方法の検討 のな方法の検討の継続の重要性の普及・啓発						

	皮期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

#### 今後の方向性・取組

通番	★15 所管課 健康推進課						
事業名	40歳・60歳検診勧奨事業						
事業概要	節目である40歳及び60歳になる方を対象に、がん検診、歯科健康診査に関する個別通知により受診勧奨を実施。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報技 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	40歳・60歳受診率の 把握						
	実施						
T. C. O. C. C.		۵۰۰۰					
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	· 令和6年度 (目標値)	
40歳勧奨:発送数 1,731件 60歳勧奨:発送数 1,449件	新型コロナウィルス 感染症拡大防止のた め、勧奨中止 (4~5月検診中止)					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組	定員縮小のため、勧 奨を中止した。						
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	申込方法の見直し						
<b>後</b> 期計画							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~R6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	1110/6127	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	★1(再)	所管課                    健康推進課					
事業名	健康情報のポスター作成						
事業概要	市内薬局等に健康講	市内薬局等に健康講座や,食育などの情報をポスターにて掲示し,市民に広く周知する。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	市内薬局への聞き取り						
	実施						
平成30年度		令和6年度					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
市内薬局42か所・ 市施設7か所(公民	市内薬局24か所(薬 剤師会会員)・市施 設7か所(公民館等)					市内全薬局及び市 施設に,前期,後期 1種類ずつ年間を	
	前期,後期に1種類 ずつ掲示。					通してポスターを掲 示。	
「働き盛り」世代等 への取組	未実施						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	連絡会等がなくなり市 薬剤師会登録薬局の みでの掲示だった。薬 剤師会等と相談し、掲 示箇所を増やしていく。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	1119/6127	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

\ <del></del>	4 - (=)	bb -m		IV -V		
通番 ————————————————————————————————————	★2(再) 所管課 健康推進課					
事業名	健康講座					
事業概要	生活習慣病予防や生 託児付講座や土日開		講座を実施する。 ロしやすい工夫・テーマ	を取り入れて行う。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へアンケート					
	実施					
平成30年度			令和6年度			
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
健康講座 年10回食育講座 年3回	健康講座 年7回 食育講座 年1回 (新型コロナウィルス 感染症拡大防止のた め4回中止。緊急事 態宣言中の1回は個 別対応で実施。)					健康講座 年10 回以 上 食育講座 年3 回以 上
「働き盛り」世代等 への取組	参加しやすい土日に 開催					
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	国・市の方針に従い実施可否を考え、状況に応じ講座形式ではない健康教育も検討していく。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	16	所管課 健康推進課					
事業名	「天平メニュー・国分寺ごはん」の活用						
事業概要	H26に市制50周年記念事業として,市栄養士がメニューを開発した。引き続きメニューを周知し,講座等に活用する。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	講座でのアンケート						
	実施						
平成30年度	実 績						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
・食育講座 年3回 ・保育園 小学校 中 学校で給食の提供 ・市報 HPに掲載 ・レシピ チラシの配 架 ・店舗3か所でメ ニュー提供	・食育講座 年1回(新型コロナウイルス感染症対策のため2回中止。)・保育園 小学校 中学校で給食の提供・市報 HPに掲載・レシピ チラシの配架・店舗3か所でメニュー提供					食育講座年3回以 上	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	まつり等のイベントが 減ったため直売所でチ ラシを配架した。今後 も、工夫しながら周知し ていく。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	17	所管課		健康推進	課			
事業名	栄養講座·食育講座							
事業概要	17-a 食事を楽しみながら生	三活習慣病予防や生	活習慣改善を目的に、名	各種教室を開催し市民	の健康の保持・増進を	図る。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート							
	実施							
亚代加东南		実績						
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)		
•栄養講座年5回実施 •食育講座年3回実施	栄養講座 年4回 食育講座 年1回 (新型コロナウィルス 感染症対策のため3 回中止。緊急事態宣 言中の1回は個別対 応で実施。)					•栄養講座年3回以上 •食育講座年3回以上		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況		
今後の課題	国・市の方針に従い実施可否を考え、状況に応じた実習内容の工夫 や講座形式ではない健康教育も検討していく。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。 市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	17 所管課 公民館課					
	'' 栄養講座・食育講座	771 日 0木		五八品杯		
尹木口						
事業概要	17-b  栄養や食事、食育に関する講座の実施。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	<ul><li>■知識習得・情報提供</li><li>(二意欲の形成</li><li>□スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>□受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □ 意欲の形成 □ スキルの習得 ■ 仲間づくり □ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者アンケート					
	実施					
			実 績			<b>∧100</b>
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)
9事業	2事業 本多公民館:「子育て 関連講座(みんなで 話そう 時短レシピと 子育て)」 光公民館:「健康講 座(薬膳と経絡スト レッチ)					10事業継続して実 施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	大幅に取組が遅れて いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	・新型コロナウイルス感染症対策のため、飲食 染症対策のため、飲食を伴う事業を行うことができなかった。 飲食を伴わない「食育」 講座の在り方について 検討が必要と考える。					
	後期計画(R2~R	3) 10 1				
後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと 取組に対する評価 後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと				べきこと		

年度)の取組

基本目標	健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」			
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきま

,!						
通番	17	所管課		育て相談室(子ども家	庭支援センター)	
事業名	栄養講座・食育講座	·				
事業概要	17-c ①1~2歳児の栄養・食生> ②親子食事作り講習会 ③妊娠期からの食生活講					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	<ul><li>■知識習得・情報提供</li><li>□意欲の形成</li><li>□スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>■受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケート					
	実施					
平成30年度	実 績					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)
各年1回実施	新型コロナウイルス 感染症拡大防止対策 により、調理、飲食な どを伴う講座等の開 催を見合わせたた め、未実施。					各年1回継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	オンラインを活用し、情報発信していくなど、講座の実施方法を見直していく必要がある。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	18	所管課		健康推進	課		
事業名	個別栄養相談	·					
事業概要	健康の保持増進を図	るため、個別栄養相	談を実施する。				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報: 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得·情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケー トを検討						
	実施						
平成30年度	実績 令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
年12回実施	年11回実施 (緊急事態宣言のた め1回中止)					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	国・市の新型コロナウイス感染症対策方針に従い、毎月実施の継続。 アンケート作成。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	1119/01/1	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	19	所管課		健康推進	課	
事業名	離乳食講習会	<u> </u>				
事業概要	離乳食に対する知識の	の普及を図り, 母子	-の健康保持・増進に努め	る。離乳食の作り方だ	けでなく,仲間づくりの	場とする。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 口知識習得・情報提供 口意欲の形成 口スキルの習得 口仲間づくり 口受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケー ト					
	実施					
平成30年度	実績 令和6年					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
年12回実施	年10回実施 (新型コロナウィルス 感染症対策のため各 2回中止。緊急事態 宣言中は個別対応で 実施。)					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	配布テキストを充実させ、来所できない方向けに市HPに掲載した。 今後もコロナ禍における実施方法を工夫していく。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	<b>★</b> 20	★20 所管課 健康推進課				
事業名	両親学級・乳幼児健診など母子保健事業での情報提供					
事業概要	母子保健事業を活用	し, 子どもだけではフ	なく保護者の健康づくりの	)必要性やの生活習慣	病等について情報提信	共を実施。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート					
	実施					
平成30年度			実 績			令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
· 両親学級(栄養講話)年4回実施 ·乳幼児健診(集団)年72回実施	・両親学級(栄養講話)年4回実施 ・乳幼児健診(集団) 年72回実施 新型コロナウイルス感染症 拡大防止の為4~5月は中止。					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組	母子事業を活用し, 情報提供していく。					
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	引き続き、子どもだけでなく、保護者の健康づく りの情報も提供していく。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	1110/6127	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	21	所管課		健康推進	課		
事業名	若い世代への食の情	若い世代への食の情報提供チラシ配布					
事業概要	市内大学・高校等と連	携し,大学生に生活習	慣病予防や食の情報	提供チラシ配布。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	<ul><li>■知識習得・情報 提供</li><li>■意欲の形成</li><li>■スキルの習得 □仲間づくり</li><li>□受け皿づくり</li></ul>	
モニタリング方法 と実施	配布先の聞取り						
	実施						
平成30年度		実績 令和6年					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
3校・私立中学校1	・市内大学1校,高校 3校の1年生,専門 学校1校の1・2学年, 市立中学校1校の1 年生に,配布。市HP 掲載					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	実施の継続						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	22	所管課		高齢福祉	課		
事業名	一般介護予防事業						
事業概要	「介護予防把握事業」ション活動支援事業」		<b>卷事業」「地域介護予防</b> 活	<b>動支援事業</b> 」「一般介	護予防事業評価事業	「地域リハビリテー	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	<ul><li>■知識習得・情報提供</li><li>■意欲の形成</li><li>■スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>□受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得·情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	開催状況把握						
	実施						
_ 5 / -	事 結						
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
地域包括支援センターと健康推進課との共催実施「介護予防教室」「家族介護者交流会」において年4回実施	委託地域包括支援セン ターにて開催 ・転倒予防教室 年3回 ・介護予防教室 年5回 ・家族介護者交流会 年15回 新型コロナウイルス感染 症感染拡大防止のため 介護予防講演会は中止					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	多職種連携の介護予防ケアマネジメントを実施すべく、歯科医師や歯科衛生士、リハビリ専門職と連携深めていく必要がある。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	1110/6127	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	23	所管課	子育で	て相談室(こどもの発達	センターつくしんぼ)		
事業名	摂食指導						
事業概要	専門指導として摂食指	旨導を取り入れ, 摂食	を指導の知識・大切さを係	呆護者ヘアプローチする	ると共に,指導員等のそ	研修も兼ねて行う。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報抗供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	思 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □中間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	摂食相談実施回数						
	実施						
平成30年度		実績 令和6年度					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
摂食指導は年4回 (4月・7月・10月・1 月)実施。 食事の形態や介助 方法等の指導を受け、療育の中に取り 入れた。	新型コロナウイルス 感染症拡大による緊 急事態宣言等によ り、10月と1月に実施					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	感染症対策を講じた上 での実施回数を確保し ていく必要がある。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	分野 2-1-1食育·栄養·食生活「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	24	所管課		子ども子育て事業詞	果(保育園)	
事業名	給食を通じた乳幼児期	明の食育指導				
事業概要	伝統的な行事にまつる	日々の給食提供から季節の食材や料理を伝える。 伝統的な行事にまつわる食事の提供により伝統食を伝える。 園内行事に合わせた食の提供等により、楽しい食体験を伝える。				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □高欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	実施回数					
	実施		実績			
平成30年度		令和6年度				
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
毎月1回実施	毎月実施 年間44回実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナ感染拡大防 止対策があり, 園児が 直接食材に触れるなど の機会が限られてい る。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	分野 2-1-1食育·栄養·食生活「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	25	所管課		子ども子育て事業詞	果(保育園)			
事業名	保育園内における野菜等の栽培							
事業概要	さまざまな野菜(食材 野菜(食べ物)の育ち		で野菜(食材)に興味る	を持たせる。				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □ 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □気欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	実施回数							
	実施	実施						
平成30年度		T.	実績	T.	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	令和6年度		
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)		
年数回収穫実施	春季作・秋季作の年 2期作とその収穫					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況		
今後の課題	天候不順等によって収 穫が左右されてしまう。							

(R2~R6)の    対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

	基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける			
	施策の方向性 2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援				
分野 2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」		2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」			
施策の目標 毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	26	所管課	所管課 子ども子育て事業課(保育園)			
事業名	芋ほり等の農業体験					
事業概要	地域での農業体験を設また自分の関わる地域		いる人について伝える。	,		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□ 口知識習得・情報提供 □ 意欲の形成 □ スキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	実施回数					
	実施					
平成30年度						令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
年2回実施	年1回実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	野外での園外保育時に おける園児の安全管理 の徹底					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	基本目標 2 健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性 2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援				
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」			
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

### 今後の方向性・取組

' <b>3</b> 37	0.7	=r &k-=		フバムフ女・古光ラ	四人四本国\		
通番 ————————————————————————————————————	27	所管課		子ども子育て事業語	木(体育图)		
事業名	給食地域交流会	給食地域交流会					
事業概要	地域の子育て世代に	対して実際に給食を	食べることを含めた情報	提供を行う。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	思 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	アンケート						
	未実施						
平成30年度	実績 令和6年						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
月1~2回実施	新型コロナウィルス 感染症流行のため 未実施(全10回中 止) 代育園 として、保 情園連記事を4回掲 載。					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	新型コロナ感染拡大防 止対策があり、地域住 民との交流方法が限ら れる。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	基本目標 2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性 2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

### 今後の方向性・取組

通番	28	所管課		経済課			
事業名	①市民農園 ②市民農業大学						
事業概要	②市民に「農業・農業	者・農場への関心と	もに生産の喜びを味わし 理解を深めてもらう」こと 里、収穫に至る一連の作	を理念として,地元農業	業者の協力と指導によ		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	<ul><li>■知識習得・情報提供</li><li>■意欲の形成</li><li>■スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>■受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	利用者アンケートの 実施						
	実施						
平成30年度	実績 令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
①市内5か所で実施。今年度は、内1 園126区画(西国分寺駅前)の使用者入れ替えを行った。 ②受講生22名中21 名が修了	①市内5か所で実施。1 園126区画(西国分寺駅 前)の使用者入れ替えを 行った ②受講生16名中16名全 員が修了					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	①あり方を含め農業振興に資する取組であるか多角的に検討する必要がある。 ②豊本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきま

通番	29	所管課		経済課					
事業名	援農ボランティア募集								
事業概要	農業者の高齢化や後継者不在など,担い手不足の問題を抱えた農家が増加していることを受け,援農ボランティ 介」を「国分寺市市民農業大学」の受講生を対象として実施。援農活動を希望する認定者を,受入農家に紹介す。 -								
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)			
取組区分の実績	<ul><li>■知識習得・情報提供</li><li>■意欲の形成</li><li>■スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>■受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	活動希望者の意向 把握								
	実施								
平成30年度		実績 令和6年度							
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)			
市民農業大学受講生 22名中, 21名が援農 ボランティア養成講座 を受講し、21名全員 が援農ボランティア認 定	新型コロナウイルス感染 症対策のため、援農ボランティア養成講座を中止。 そのため、令和2年を度に は援農ボランティアを令和 成できなかったが、令和 の中で活動を希望する者を 受入農家へ紹介					継続して実施			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和6 年度)の達成状況			
今後の課題	活動希望者と受入れ農家とのマッチング。ボランティアを養成している市民農業大学の受講生が近年減ってきているため、情報発信の強化が必要である。								

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

### 今後の方向性・取組

通番	30	所管課		経済課		
事業名	直売所マップの配布					
事業概要	農業振興補助金を活	用し、JA東京むさし	国分寺支店が制作した『	直売所マップを市役所の	の窓口等で配布する。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報技 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	配布部数の把握					
	実施					
亚成20年度		令和6年度				
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
窓口以外にも様々な農業イベントで配布	直売所情報を精査し、最 新情報を掲載した直売所 マップを作成・配布					直売所情報を精査 し、最新情報を掲載 した直売所マップを 配布
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	情報発信ツールとして 有効であるため引き続 き配布を行う。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

### 今後の方向性・取組

通番	31	所管課		経済課			
事業名	地場産農畜産物の周	也場産農畜産物の周知					
事業概要	市民農業大学、農業化をPRする。	本験農園, ぶんじふ	れあい市,農業祭,農ウ	ォーク等の農業関連事	業を通じて参加者に対	付し, 市内産の野菜	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報:供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	認知率調査						
	実施						
平成30年度		実績 令和6年度					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
市民農業大学、農業 体験農園(全7か 所)、ぶんじふれあい、 市(年2回)、農業あい、 農ウォーク、ふれあい、 視察会(うど見学会) 等を実施し、参加者に 市内産の野菜をPR	市民農業大学、農業体験 農園(全7か所)等を通じ て市内産の野菜をPR 新型コロナウイルス感染 症対策のため、上記の事 業以外は中止					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	多様な情報発信ツール の活用						

	期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

### 今後の方向性・取組

通番	32	所管課		経済課		
事業名	農業体験	•				
事業概要	市民農業大学,市民	農園, 国分寺いきいき	農園,農業体験農園等	₹の事業実施による市!	民の農業体験の場の扱	是供。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加人数の把握					
	実施		実績			
平成30年度			令和6年度			
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
市民の農業体験の場 として、市民農業大 学、市民農園、国分 寺いきいき農園、親子 農業体験と日本験・講習 会合む)、農業体験農 園等の事業を実施	市民の農業体験の場として、市民農業大学、市民農業大学、市民農園、国分寺いきいき農園、野子作り体験講習会含む)、農業体験農園等の事業を実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	農業体験メニュ―につい ての情報発信を強化する					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

_					
	基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける			
	施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
	分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」			
	施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

### 今後の方向性・取組

通番	33	所管課		経済課			
事業名	農業体験農園						
事業概要			市民に連続した農業体 品目程度の多品種栽培			料も野菜づくりに必	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	<ul><li>■知識習得・情報提供</li><li>■意欲の形成</li><li>■スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>■受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□ 口知識習得・情報提供 □ 意欲の形成 □ スキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	利用者アンケートの実施						
	未実施						
平成30年度	実績 令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
市内7園にて開設	市内7園にて開設(新規 開設なし) 農業体験農園を開設している農園主同士による情 報交換会を開催し、各農 園の特徴や運営面の課 題等を共有					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	体験農園の持続的な運営が可能となるよう、引き続き農園主同士の意見交換会を開催し、情報共有や市への支援要望の把握を行う。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」			
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	11196127 1	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	34	所管課		経済課		
事業名	農業祭	·				
事業概要			里の合理化を図り,都市 保護と回復に深い関連の			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	農業祭での売り上げ 実績					
	実施					
平成30年度	実績 令和6年度					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
11月3日、4日の二日間農業祭本祭を実施。本祭に前後し、農業祭の一環としてハウストマト品評会、立毛品評会、うど品評会を実施	新型コロナウイルス感染症対策のため、農業祭本祭、ハウストマト品評会、立宅品評会は中止し、うど品評会のみ実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染症対策 のため、同日・同場所で開催される国分寺まつりが中止となる ことで農業祭本祭も中止となっ た。今後、感染症の対策を取っ た上で実施できるよう検討する 必要がある。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	1110/6127 N	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

通番	35	所管課		経済課			
事業名	JA協賛調理教室						
事業概要	JA東京むさし国分寺	支店「セミナールー	ム」にてJAが企画した料	理教室を市民向けに実	産施。食育や地産地消	に直結する講座。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	参加者人数						
	未実施						
平成30年度	実 績 令和						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
国分寺産うど料理, いちご大福作り, パ ンプキンプリン作 り, まんじゅう作りな ど市民向け料理教 室を年7回実施	新型コロナウイルス 感染症対策のため, 未実施					JA東京むさし国分 寺支店が実施する 食育や地産地消に 直結する料理教室 について、市報で市 民に情報提供す る。	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	市事業ではないため効果測定がしづらい。 調理を伴うため、コロナ禍での実施方法を検討する必要がある。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	1110/6127	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

可後の月回は、秋村 朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。

っ。 市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域 を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	36	所管課		子ども子育て事業詞	果(児童館)		
事業名	児童館の料理教室	児童館の料理教室					
事業概要	子どもや乳幼児親子で	で参加できる料理の1	È画·実施。				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □ネキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	実施回数						
	実施						
平成30年度	実 績						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	· 令和6年度 (目標値)	
料理企画63回 (6児童館合計)	※コロナウイルス感 染症対策のため、調 理活動は中止した。 園庭での野菜の栽培 や食育の観点を取り 入れた制作等の活動 を実施。					料理企画65回 (6児童館合計)	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	   評価なし 					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	コロナウィルス感染症対策のため、調理行事の取り組みができなかった。今後、どのような形で「食に関味を持てる」行事を実施することができるか、検討する必要がある。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

-				
	基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
	施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
	分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」		
	施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

#### 今後の方向性・取組

可後の月回は、秋村 朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。

。 市の食育事業指針を踏まえた上で,食育を,ライフステージに応じて,暮らしの様々な場面の中で,市民一人ひとりや関係機関と連携しながら,地域 を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	37	所管課		学務課			
事業名	食育指導	食育指導					
事業概要	各小学校における栄養	養職員による食育指	導(授業・給食時間での	食育指導)。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報技 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	思しています。 世代 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	各校への取り組み状 況調査						
	実施						
平成30年度	実 績					令和6年度	
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
各校平均 年27.1回実施	各校平均 年8.5回実施					各校 年25回実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	新型コロナウイルス感染 症拡大防止のため、児童 が密になる食育指導を中 止した。今後も栄養職員 で情報共有を図り、工夫 をして食育指導を行う。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動•運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

### 今後の方向性・取組

通番	★38	所管課	子	育て相談室(子ども家)	庭支援センター)	
事業名	運動講座					
事業概要	38-a ①ストレッチ&ダンス	②リトミック ③	自分でできるセルフケア	④パパと子どもの遊	むの会	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報: 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケート					
	実施					
平成30年度	実 績 令科					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
各年1回実施	①3回(親子体操,3B体操) 操) 東京都訪問型スポーツ・レクリエーション促進事業 を活用し,年齢別の親子 体操や3B体操を実施した。 ②3④未実施					各年1回継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	感染症対策を行った上で の講座等の実施方法に ついて、検討していく必要 がある。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	健康的な生活習慣を身につける	
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援	
分野	2-1-2身体活動•運動	
施策の目標	1日に歩く時間を増やす	

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

### 今後の方向性・取組

通番	★38	所管課		健康推進	<del></del> 課	
事業名	運動講座					
事業概要			指導員を講師に運動詞 加しやすい工夫・テーマ		特間に行える運動を紹っ	介。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者アンケート					
	実施					
平成30年度	実 績					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
年2回実施	年2回ウォーキング講座 の実施 65歳以上 参加者 5人 65歳末満 参加コロナウィルス感染 症拡大防止のため保育を 中止)					年1回以上の実施
「働き盛り」世代等 への取組	土曜日に実施					
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	働き盛り世代への周知.。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2.健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-2身体活動•運動		
施策の目標	1日に歩く時間を増やす		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

### 今後の方向性・取組

通番	39	所管課		社会教育	課		
事業名	グループサークル団体	ブループサークル団体登録					
事業概要	グループサークル団体	本の受付・登録を行う。	,				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	<ul><li>■知識習得・情報提供</li><li>一意欲の形成</li><li>□スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>■受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	登録数						
	実施						
平成30年度		Ī	実績			令和6年度	
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
グループサークル 団体登録数 66団 体	グループサークル団 体登録数 110団体					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	登録をしていない団体へ の更なる周知が必要						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-2身体活動・運動			
施策の目標	1日に歩く時間を増やす			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

### 今後の方向性・取組

<b>ਪਵ</b> ਜਾ	40	=r //x ===	11 A #L <del>**</del> =	m / 人 to o ケ ウ レ リフ !*	1.7.女~去米== 10.50	<del>/-</del> ->	
通番 ————————	40 所管課 社会教育課(令和3年度より子ども子育で事業課へ移管)						
事業名	プレイステーション整備・運営(野外活動)						
事業概要	青少年が生き生きとま	安全に遊べる遊び場と	:して, 指定管理者制度	により国分寺市プレイ	ステーションの管理・選	営営を行う。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	□知識習得·情報提供 (共 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円)	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	年間利用者数						
	実施						
平成30年度	実 績						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
年間利用者数 10,726人	年間利用者数 18,984人					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	新施設での安定運用						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-2身体活動・運動			
施策の目標	1日に歩く時間を増やす			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

### 今後の方向性・取組

通番	41	所管課		スポーツ振り	<b>興課</b>	
事業名	スポーツ大会開催					
事業概要	各種スポーツ大会を閉	見催する。				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	<ul><li>□知識習得・情報提供</li><li>□意欲の形成</li><li>□スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>■受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報技 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	<ul><li>□知識習得・情報 提供</li><li>□意欲の形成</li><li>□スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>■受け皿づくり</li></ul>
モニタリング方法 と実施	主管団体からの実施 報告に事業の課題等 を記載					
	未実施					
平成30年度	実 績					令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
会, 少年野球大会, 少年少女サッカー 大会, 少年少女バ	新型コロナウイルス 感染症拡大に伴い、 すべての大会が開催 中止となった。 ※事業中止に伴いモ ニタリングも未実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	施設利用人数制限や接触の多い競技など、新型コロナウイルスの影響により従前の実施方法では 困難な事業について実施方法等を検討する必要がある。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-2身体活動・運動			
施策の目標	1日に歩く時間を増やす			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

### 今後の方向性・取組

	42	所管課		スポーツ振!	 興課	
事業名	スポーツ推進委員によるイベント					
事業概要	スポーツ推進委員に。	より各種イベントを行	う。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	毎月の定例会で事業の 反省と市民の様子を共 有し、課題を抽出する					
	実施					
平成30年度	実績					令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
ウォーキング1回, ノルディックウォー キング1回, サイク ルロゲイニング1 回, マイロングライ フフィットネス2回, スポレクまつり1回 それぞれ実施	スポレク広場15回、スポレク 広場スペシャルデー1回(スポレカ ボレクまつり縮小版)、ポッ チャ指導3回、放課後子ども プラン活動1回、軽運動動画 の作成・公開 ※新型コロナウイルス感染 症拡大に伴い、多数の事業 が中止となった。					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	新型コロナウイルス感染 拡大後の新しい生活様式 に合わせた活動内容の 創出, 改変が必要。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

### 今後の方向性・取組

通番	22(再)	所管課		高齢福祉	 課		
事業名	一般介護予防事業						
事業概要		「介護予防把握事業」「介護予防普及啓発事業」「地域介護予防活動支援事業」「一般介護予防事業評価事業」「地域リハビリテー ション活動支援事業」から構成される。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	<ul><li>■知識習得・情報提供</li><li>■意欲の形成</li><li>■スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>□受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報供 □意欲の形成 □意欲の形成 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	開催状況把握						
	実施						
平成30年度	実績 令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
地域包括支援セン ターと健康推進課と の共催実施 「介護予防教室」 「家族介護者交流 会」において年4回 実施	委託地域包括支援セン ターにて開催 年3回 ・・転倒予防教室 年3回 ・・介護予防教室 年5回 ・家族介護者交流会 年15回 新型コロナウイルス感染 症感染拡大防止のため 介護予防講演会は中止					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	多職種連携の介護予 防ケアマネジメントを実 施すべく、歯科医師や 歯科衛生士、リハビリ 専門職と連携深めてい く必要がある。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

### 今後の方向性・取組

通番	43	所管課		健康推進	課	
事業名	地域生きがい交流事業					
事業概要	高齢者がそれぞれの 介護予防事業」等を行		ら多様な経験・技術を生	かし, さまざまな生きか	い活動を実践するため	か,「生きがい創作・
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提供供の記念の形成の習得の中間づくりの受け血づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	各期毎の満足度アンケート (年2回) ※新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため、1期講座が途中 で中止となりアンケート未実施。					
	実施					
亚成20年度	実 績					
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)
年間延べ参加者数 7,876人	年間延べ参加者数 3,610人 (新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため、 一部中止、定員削減)					年間延べ参加者数 8,000人以上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	大幅に取組が遅れている。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	新型コロナウイルス感染 症拡大防止のための対 策を取りながらも、市民の 方に安全かつ満足度の 高い講座を提供すること が直近の課題である。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

### 今後の方向性・取組

通番	44	所管課		健康推進	課		
事業名	体育館等個人開放・日	本育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-a いきいきセンター管理	4−a いきいきセンター管理運営(指定管理)し,市民の健康増進活動の場を提供する。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	指定管理モニタリン グチェック及び利用 者アンケート						
	実施						
亚宁00左座	実績						
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
いきいきセンタ一団 体登録数 32団体	いきいきセンター 団体登録数 32団体					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	施設利用率の向上 40~60歳代の利用率向 上						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-2身体活動•運動			
施策の目標	1日に歩く時間を増やす			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

### 今後の方向性・取組

通番	44	所管課			スポーツ振り	興課	
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し						
事業概要	44-b 市内体育施設を維持	管理し,市民に活	舌動の	場を提供する。			
	令和2年度	令和3年度	Ę	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり		□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	施設利用者へのアンケート調査						
	実施						
平成30年度	実績 令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	Ę	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
3施設 (市民スポーツセン ター, 市民ひかりス ポーツセンター, 市 民室内プール)	3施設 (市民スポーツ センター, 市民ひかり スポーツセンター, 市民室内プール)						継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。						後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	新型コロナウイルス感 染症対策及び施設の 老朽化対策適切に行 い、安全なスポーツ環 境を提供する必要があ る。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-2身体活動・運動			
施策の目標	1日に歩く時間を増やす			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

### 今後の方向性・取組

通番	44	所管課		公民館課	Į		
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し						
事業概要	44-c 公民館施設の貸出し						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	利用者懇談会						
	実施						
平成30年度			実績			令和6年度	
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
24,890件 (身体活動・運動で の内訳利用数は不 明)	13,041件 (身体活動・運動での 内訳利用数は不明) 新型コロナウイルス 感染拡大防止のた め,4月~6月末まで 休館,以降夜間貸出 中止					25,000件	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	大幅に取組が遅れている。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	新型コロナウイルス感染 症対策による臨時休館の ため利用件数が昨年度 の58%に留まった。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-2身体活動・運動			
施策の目標	1日に歩く時間を増やす			

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

### 今後の方向性・取組

通番	44	所管課		地域共生推	進課		
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し						
事業概要	44-d 福祉センターの貸出し	<b>*</b> 0					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	思しています。 世代 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	指定管理者による利 用者アンケート						
	実施						
亚代加东南	実 績						
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
3,348件	1,664件(身体活動・運 動での内訳利用数は不 明)						
明)	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため、4 月〜6月末まで休館、 以降夜間貸出中止					3,400件	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	大幅に取組が遅れている。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	新型コロナウイルス感染 防止に努めながら、利用 しやすい環境づくりに向 けて指定管理者と協議し ていく。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

### 今後の方向性・取組

通番	44	所管課		協働コミュニラ	ティ課		
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し						
事業概要	44-e 地域センター6館及び	多喜窪公会堂の集会	<b>全等の貸出し</b> 。				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	<ul><li>□知識習得・情報提供</li><li>□意欲の形成</li><li>□スキルの習得</li><li>□仲間づくり</li><li>■受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	利用率等の把握						
	実施						
— b <i>t</i> - t	実績						
平成30年度 (現状値)	一 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
全7館で継続して実施	全7館で継続して実施					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	適切な施設の管理・運 営を行い、引き続き、利 用を促進していく。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

### 今後の方向性・取組

通番	45	所管課	子	育て相談室(子ども家)	庭支援センター) 		
事業名	①総合相談 ②フリートーキング						
事業概要	①0~18歳の子どもに ②日々の子育ての中	関わる全ての人から で聞きたいことや話し	の相談を専門職が受け たいことなど, みんなで	<sup>ト</sup> る。 おしゃべりしながら交涙	たする。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	<ul><li>■知識習得・情報 提供</li><li>■意欲の形成 □スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>■受け皿づくり</li></ul>	
モニタリング方法 と実施	①実施なし ②利用者アンケート						
	実施						
平成30年度	実 績						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
①各月1回または 適時実施。 ②0歳児対象、テーマ別、パパ対象を各 6回実施し、育児相 談や友達作りの機 会を提供した。	①適時実施 ②0歳児対象4回, テーマ別6回,パパ 対象1回実施し,育 児相談や友達作りの 機会を提供した。					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	①他課との相談の棲み分け。 (2)人数制限がある中での対象者を絞ってのフリートーキングの運営の仕方を、検討を要する。						

後	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

-		
	基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
	施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
	分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
		こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

#### 今後の方向性・取組

通番	46	所管課		健康推進			
事業名	メンタルヘルス講座						
事業概要		る講座を実施。精神	申面の気づきのポイントを	理解してもらい, 心の	健康づくりや病気の早	期発見・治療に結び	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 供□意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	アンケート						
	未実施						
平成30年度	実績 令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
「メンタルヘルス〜 最新情報を聴いて, なんでも訊いて 解 決!」講座実施	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のた め中止。					2年に1回以上実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	働き盛り世代への周知および市民全体のニーズに合った内容での実施を検討していく。講座形式にかわる健康教育の実施を検討。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

#### 今後の方向性・取組

通番	<b>★</b> 47	所管課		健康推進	 課	
事業名	メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」					
事業概要	携帯電話やパソコンに分かる仕組みになって		込み度を簡単にチェック	するもの。それを実施す	することで、どこに相談	に行ったらよいかが 
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □ 高欲の形成 □ スキルの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アクセス数及び チェック結果の把握					
	実施		<u> </u>			
平成30年度	実 績					令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
アクセス件数 年間41,092件	アクセス件数 年間17,515件					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組	携帯電話やパソコン により,手軽に確認 できるようにしてい る。					
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	周知方法と動機づけ					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

-		
	基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
	施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
	分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
		こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

#### 今後の方向性・取組

通番	48	所管課		障害福祉	課	
事業名	心の健康相談(精神保健相談)					
事業概要	精神科医師による相談	淡。心の問題について	の相談や、セカンドオは	ピニオンとしての利用や	ウ受診の必要性の確認	などを行う。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □ネキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	事後面接•相談					
	実施					
平成30年度		Ī	実績			令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
月1回実施。相談者 26人。	11回/年実施 相談者延人数 23人					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	市報やHP掲載の他に、チラシを配布する機会をエ 夫する等相談事業の周知 に努めていく。					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

#### 今後の方向性・取組

通番	49	所管課	所管課健康推進課				
事業名	妊産婦新生児訪問						
事業概要	妊産婦訪問時にEPD 安等、メンタルヘルス		) フ病質問票)を含む自己	己記入式質問票を実施	し,産後うつ病のスク	ノーニングや育児不	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □意かの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □ネキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □意なの形成 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	訪問						
	実施						
平成30年度		実績 令和6年度					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
産婦訪問実施率 95.5%	産婦訪問実施率 84.7%					産婦訪問実施率 95.0%以上	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	各担当の更なるスキル アップ						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける	
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援	
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠	
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。	

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

#### 今後の方向性・取組

通番	50	所管課		健康推進	課	
事業名	ゲートキーパー養成詞	ゲートキーパー養成講座				
事業概要	年1回市職員を対象! 対象を市民や関係機		を講師に自殺対策講座 一パーを増やす。	を実施している。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (井) □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □ 高欲の形成 □ スキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	事後アンケート					
	実施					
平成30年度	実 績					令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
市職員対象に年1 回実施	市職員対象に年1回 実施 参加者11人					年1回以上実施 対象者を拡大
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	周知方法と動機づけ 受講対象者の拡大					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-4飲酒		
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる		

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	17.9%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	19.0%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

### 今後の方向性・取組

通番	46(再)	所管課			健康推進記	果	
事業名	メンタルヘルス講座						
事業概要	メンタルヘルスに関す つくようにする。	る講座を実施。キ	青神面の気づき₫	)ポイントを	理解してもらい, 心の値	建康づくりや病気の早	期発見・治療に結び
	令和2年度	令和3年度	令和4	l年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成□スキルの習得	□知識習得·情 供 □意欲の形成 □スキルの習得	供口意欲の刑	彡成	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得
	□仲間づくり □受け皿づくり	□仲間づくり □受け皿づくり	□仲間づく □受け皿つ		□仲間づくり □受け皿づくり	□仲間づくり □受け皿づくり	□仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート						
	未実施						
平成30年度	実 績						令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4	1年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
「メンタルヘルス〜 最新情報を聴いて, なんでも訊いて 解 決!」講座実施	新型コロナウイルス 感染症防止のため中 止						2年に1回以上実施
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし						後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	働き盛り世代への周知および市民全体のニーズに合った内容での実施を検討していく。講座形式にかわる健康教育の実施を検討。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-4飲酒
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	35.5%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	46.2%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

### 今後の方向性・取組

飲酒の危険性や適切な飲酒量、過度の飲酒における健康への影響に関する知識を普及します。

事業名   アルコール個別相談   アルコール依存症の方やアルコールが止められない方の個別相談。								
事業概要 アルコール依存症の方やアルコールが止められない方の個別相談。	通番	51	所管課		健康推進	課		
中間	事業名	アルコール個別相談						
取組区分の実績	事業概要	アルコール依存症の	ちやアルコールが止	かられない方の個別相				
取組区分の実績		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
未実施   東 積	取組区分の実績	供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	
平成30年度 (現状値)     実績       令和2年度     令和3年度     令和6年度 (目標値)       相談件数1件(健康 推進課) 相談件数12件, (障害福祉課)     相談件数1件(健康 相談件数13件(障害 福祉課)     継続して実施       「働き盛り」世代等 への取組     機期終了時(令和元年度)の達成状況評価       各年度末までの 進捗状況評価     目標どおり進行して いる。     後期終了時(令和元年度)の達成状況 況								
中成30年度 (現状値) 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 (目標値) 相談件数1件(健康 推進課) 相談件数13件(障害 相談件数13件(障害福祉課) 「働き盛り」世代等 への取組 各年度末までの 進捗状況評価 目標どおり進行して しる。 家族・周囲からの相談 や、関係機関と連携した。個別支援となっている。 個別支援とおける情報提		未実施						
(現状値) 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 (目標値) (目標値) イロット (程度 推進課) 相談件数1件(健康 推進課) 相談件数12件, 関係機関連絡23件 (障害福祉課) (障害福祉課) 日標どおり進行して いる。 (基準状況評価 を存成を) は、関係機関と連携した個別支援となっている。 (国別支援となっている。 個別支援となっている。 (国別支援となっている。 個別支援となっている。 (国別支援となっている。 個別支援となっている。 (国別支援となっている。 個別支援となっている。 (国別支援となっている。 (国)支援・法計る情報提				実 績			A 100 ft ft	
相談件数1件(健康 推進課) 相談件数12件, 関 係機関連絡23件 (障害福祉課)  「働き盛り」世代等 への取組  各年度末までの 進捗状況評価  目標どおり進行して いる。  家族・周囲からの相談 や、関係機関と連携した 個別支援となっている。 個別支援となっている。 個別支援となっている。 個別支援となっている。 個別支援となっている。 個別支援となっている。		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
本の取組	相談件数1件(健康 推進課) 相談件数12件, 関 係機関連絡23件	推進課) 相談件数13件(障害					継続して実施	
音年度末までの 進捗状況評価 日標とおり進行して いる。 元年度)の達成状況 家族・周囲からの相談 ・関係機関と連携した。 個別支援となっている。 個別支援となっている。 個別支援における情報提								
や、関係機関と連携した 今後の課題 個別支援となっている。 個別支援における情報提							元年度)の達成状	
	今後の課題	や、関係機関と連携した 個別支援となっている。 個別支援における情報提						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-4飲酒
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	35.5%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	46.2%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

### 今後の方向性・取組

飲酒の危険性や適切な飲酒量、過度の飲酒における健康への影響に関する知識を普及します。

通番	<b>★</b> 52	所管課		健康推進	課		
事業名	両親学級(妊娠中の飲酒のリスクを情報提供)						
事業概要	妊娠中の飲酒による服	治児の影響について,	リーフレットを配布し、	保健師より説明を行う。	)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート						
	実施						
平成30年度	実 績						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
年10回実施(土曜 日・いずみプラザ) 年1回実施(平日・ 子ども家庭支援セ ンター)	年8回実施うち2回オンライン(土曜日・いずみプラザ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為2回中止。					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組	土曜実施						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	継続した取組を実施していく必要がある。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-4飲酒
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	35.5%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上> 46.2%		7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

### 今後の方向性・取組

飲酒の危険性や適切な飲酒量、過度の飲酒における健康への影響に関する知識を普及します。

通番	<b>★</b> 53	所管課		健康推進	 課		
事業名	アルコールによる健康問題に関する情報提供						
事業概要	市報・ホームページ等	で、情報提供を行う。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	広い世代に周知する ために市報掲載を継 続。						
	実施						
平成30年度	実 績						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
5月1日号市報へル スアップ通信内に健 康コラム「飲酒に関 して考えてみましょ う」記事掲載。	6月1日号市報ヘルスアップ通信とホームページに健康コラム「お酒とどのように付きあっていますか?」記事掲載。					年1回以上市報, ホームページに記 事掲載	
「働き盛り」世代等 への取組	「働き盛り」世代等が 関心を持つ内容を掲 載する						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	周知の工夫						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-5喫煙
施策の目標	受動喫煙をしないような環境づくりをすすめる

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
『習慣的に喫煙している』人の割合	8.8%		受動喫煙のリスクを喫煙者が認識し、周囲への配慮や、禁煙行動 に移す意識を高める必要があるため目指していく数値

### 今後の方向性・取組

受動喫煙の危険性やCOPDの周知を行うとともに、禁煙したい方への情報提供を行い、喫煙者を減らしていきます。

					E	_	
通番 ————————————————————————————————————	<b>★</b> 54	所管課			健康推進	课	
事業名	喫煙及び受動喫煙のリスクや禁煙外来についての情報提供						
事業概要	市報・ホームページ・ノ ていく。	ペンフレット等につ	て情報	提供を行う。東京都受	受動喫煙防止条例の制	定や健康増進法の改	正に沿った周知をし
	令和2年度	令和3年度	Ę	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり		□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □ 意欲の形成 □ スキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	情報提供の取組み の実施回数						
	実施						
平成30年度	実績 令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	Ę	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
・市役所庁舎内へ 受動喫煙に関連するポスターを掲示。 ・市報・ホームページにたばこの影響 についての知影普 及と啓発記事を掲	・市報・ホームページ へたばこの影響,改 正健康増進法の啓 発記事を掲載すると ともに禁煙週間にも 関連記事を掲載。						継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組	両親学級における啓 発の実施						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。						後期終了時(令和 元年度)の達成状 況
今後の課題	改正法及び都条例の周 知を含む望まない受動喫 煙を防止のための普及啓 発						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活	2 健康的な生活習慣を身につける						
施策の方向性	2-1すべての人か	ぶより良い生活習慣	貫を身につけるための支	援				
分野	2-1-5喫煙	2-1-5喫煙						
施策の目標	受動喫煙をしない	いような環境づくり	をすすめる					
	指標	平成30年(現料	K値 令和6年(目標値)		考え方			
『習慣的に喫煙している』人の割合 8.8% 0%を目指す 受動喫煙のリスクを喫煙者が認識し、周囲への配慮や、禁煙行に移す意識を高める必要があるため目指していく数値								
			今後の方向性・取	組				
受動喫煙の危険性	生やCOPDの周知を行	うとともに, 禁煙し	したい方への情報提供を	行い,喫煙者を減らしてい	いきます。			
	★55	所管課		健康推進	 課			
事業名	   両親学級(妊娠中の専	 喫煙・受動喫煙の!	 リスクを情報提供)					
事業概要	妊娠中の喫煙や、副流	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の影響について妊婦や	その家族に情報提供を行	ゔ゙ゔ。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	供 □意欲の形成	思しています。 世代 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート							
	実施							
平成30年度			実績		令和6年度	令和6年度		
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(実績値)	(目標値)		
いずみプラザ) 年1回実施(平日・子	年8回実施うち2回オンライン(土曜日・いいずみプラザ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為2回中止。					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組	土曜実施							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	継続した取組を実施 していく必要がある。							
後期計画(R2~R6)の 後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと								
取組に対する評価								

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

#### 今後の方向性・取組

通番	★14(再)	所管課		健康推進	課				
事業名	歯科健診								
事業概要	·乳幼児歯科健診:2歳半日 ·成人歯科健診:歯科医師 ·高齢者歯科健診:歯科医	・妊婦歯科健診: 妊婦を対象に口腔内診査・歯みがき相談を実施。 ・乳幼児歯科健診: 2歳半頃の幼児及び3歳半頃の幼児を対象に口腔内診査, 仕上げみがきや幼児自身の歯みがき, フッ化物塗布(希望者)を実施。 ・成人歯科健診: 歯科医師会医療機関にて, 20歳以上の市民対象に口腔内診査, 相談を実施。 ・高齢者歯科健診: 歯科医師会医療機関にて, 75歳以上の市民対象に, 口腔機能に関する項目を含む口腔内診査, 相談を実施 ・口腔がん検診: 視診による舌やその他口腔内粘膜の炎症や傷の検査を実施。							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	成人歯科健診のアンケート では歯科保健行動につなが る項目をいれている。 妊婦歯科健診は今年度中止								
	実施								
			実績			A 100 F F			
平成30年度 (現状値)	一 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)			
受診者 ・妊婦167人 ・乳幼児(2歳半3歳 半)270人、予防処置 (フッ化物塗布)252人 ・成人900人 ・口腔がん59人	受診者数 - 妊婦の人 - 乳幼児(2歳半3歳半) 182人,予防処置(フッ化物塗布)175人 - 成人1,070人 - 高齢者568人 - 口腔がんの人 <sup>接姆歯科機診・口腔が人後診は新型コナ</sup> <sup>接繰歯科機診・口腔が中止</sup>					・妊婦170人 ・乳幼児(2歳半3歳 半)270人,予防処置 (フッ化物塗布)250人 ・成人825人 ・高齢者125人 ・口腔がん65人			
「働き盛り」世代等 への取組	特定健診対象者へ の案内継続 ・30,40,50,60,70歳へ の個別勧奨継続								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況			
今後の課題	受診率向上にむけた周知・勧奨の継続及び効果的な方法の検討 定期的健診の継続の重要性の普及・啓発								

	注期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラク ターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画 * の目標値に合わせる

## 今後の方向性・取組

通番	56	所管課		健康推進	課			
事業名	口腔機能向上健診							
事業概要	40歳以上の市民を対 て実施する。	象に健診, 口腔機能	評価を実施する。また、	歯科医師による個別村	目談と歯科衛生士によん	る健康教育等を併せ		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	歯科保健行動につな がる内容を取り入れ たアンケート							
	実施							
平成30年度		実績						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)		
	延べ人数162人(健 診・舌圧測定・口腔 機能測定・個別相 談) 新型コロナ感染症拡 大防止のため2回中 止					延べ人数252人(平成 30年度受診者数以 上)		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	中年期以降の世代への、口 腔機能の重要性に関する。 普及・啓発の継続。高齢者 歯科健診受診後の二次検診 の確立。感染予防対策の徹 底とコロナ禍においても必要 な受診ができるように周知							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	<b>★</b> 57	所管課		健康推進	<del></del> 課		
事業名	①乳幼児・2歳児歯み ②成人歯科保健講座						
事業概要	その保護者を対象に,	口腔機能や虫歯予防	は1歳頃〜1歳5か月児 方に関する健康教育とれ 対育, 歯科衛生士による	相談を実施。	歯みがきクラスは2歳り		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	<ul><li>■知識習得・情報提供</li><li>■意欲の形成</li><li>■スキルの習得</li><li>□仲間づくり</li><li>□受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □ネキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	アンケートに歯科保 健行動につながる項 目を取り入れている。						
	実施						
平成30年度	実績 令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
・乳幼児歯みがきクラ ス138組 ・2歳児歯みがきクラ ス95組 ・成人講座年1回実施	・乳幼児歯みがきクラス 77組 ・2歳児歯みがきクラス 43組 新型コロナ感染症拡大 防止のため各3回中止 ・成人講座年1回実施					・乳幼児歯みがきクラス138組以上 ・2歳児歯みがきクラス95組以上 ・成人講座継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組	2歳児歯みがきクラ スは1回/年土曜日開 催						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	ライフステージに応じ た正しい知識や情報 発信の継続及び方法 の検討						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	58	所管課		健康推進	 課			
事業名	歯科医療連携推進事業							
事業概要			かりつけ歯科医を探す は医療を受けられるよう			)相談を受け, 歯科		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	歯科医療連携 講演会でのアンケー ト							
	未実施							
平成30年度		実績 令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)		
・相談及び連絡・調整(障害者等歯科相談窓口含む)133件・歯科衛生士訪問2件・歯科医師訪問4件	・相談及び連絡・調整 (障害者等歯科相談 窓口含む)117件 ・歯科衛生士訪問4 件 ・歯科医師訪問4件					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	医療と福祉の連携の強化 障害者や在宅要介護者 等のかかりつけ歯科医の 定着							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	59	所管課             健康推進課					
事業名	個別歯科相談						
事業概要	歯科衛生士が電話・同	面接・訪問により歯と	こ口に関する相談を実施。				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報:供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	相談後の反応						
	実施						
TI #20 /F #	実績						
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
延べ件数31件 (電話・面接・訪問)	延べ件数62件 (電話・面接・訪問)					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	市民の不安を軽減 し、より満足度の高い 支援を行う為の方法						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画 * の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	60	所管課          健康推進課						
事業名	歯と口の健康週間事業							
事業概要	歯と口の健康週間(6	/4~6/10)のうちのE	1曜日に歯と口の健康	に関するイベントを実施	Ė.			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供□意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間では、一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	評価指標を項目に入れたアンケート							
	未実施							
平成30年度		T	実績	Ī	1 44-4	令和6年度 (目標値)		
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)			
イベント参加延べ人 数 479人	新型コロナ感染症拡 大防止のため中止					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	コロナ禍において口腔の 健康を保つための体験を 含む集合イベントは実施 が困難。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	4(再) 所管課 健康推進課								
事業名	子どもの歯を守る連絡会								
事業概要	市、関係機関等が連携	市、関係機関等が連携し「子どもの歯と口の健康づくり」に関する効果的な事業の推進を図るための検討や協議を行う。							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提 供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	評価指標のアンケートを乳幼児健診, 小中学校等で実施								
	実施								
平成30年度			実績			令和6年度 (目標値)			
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)				
年2回開催	年2回開催(うち1回 書面開催)					年2回実施			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況			
今後の課題	活発な情報提供及び 情報共有, 意見交換 の場となるような会の 進め方を検討								

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	★15(再)	所管課		健康推進	===		
事業名	40歳·60歳検診勧奨事業						
事業概要	節目である40歳及び6	60歳になる方を対象1	こ, がん検診, 歯科健康	意診査に関する個別通知	知により受診勧奨を実	施。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	40歳・60歳の受診率 の把握						
	実施						
平成30年度			実 績			令和6年度 (目標値)	
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)		
40歳勧奨: 発送数 1,731件 60歳勧奨: 発送数 1,449件	新型コロナウィルス 感染症拡大防止のため、他検診との合同 の勧奨を中止 歯科のみ送付数 40歳:1,692人 60歳:1,562人					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組	40歳・60歳の市民に対し 個別通知を発送。 必要時パノラマレントゲン 実施						
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	受診勧奨通知送付の 継続						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	22(再)	所管課		高齢福祉	課				
事業名	一般介護予防事業								
事業概要		「介護予防把握事業」「介護予防普及啓発事業」「地域介護予防活動支援事業」「一般介護予防事業評価事業」「地域リハビリテー ション活動支援事業」から構成される。							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)			
取組区分の実績	<ul><li>■知識習得・情報提供</li><li>■意欲の形成</li><li>■スキルの習得</li><li>■仲間づくり</li><li>□受け皿づくり</li></ul>	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	思しています。 世代 日意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	開催状況把握								
	実施								
	実績								
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)			
地域包括支援セン ターと健康推進課と の共催実施 「介護予防教室」 「家族介護者交流 会」において年4回 実施	委託地域包括支援セン ターにて開催 ・転倒予防教室 年3回 ・介護予防教室 年5回 ・家族介護者交流会 年15回 新型コロナウイルス感染 症感染拡大防止のため 介護予防講演会は中止					継続して実施			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況			
今後の課題	多職種連携の介護予防ケアマネジメントを実施すべく、歯科医師や歯科衛生士、リハビリ専門職と連携深めていく必要がある。								

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	61	所管課		子ども子育て事業認	果(保育園)			
事業名	歯科健診							
事業概要	61-a 嘱託歯科医師による もらう。	<b>歯科健診。健診当日欠</b>	ス席した未受診児には	属託歯科医院を受診し	てもらい, 1か月間は無	<b>乗料で健診を受けて</b>		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 悪意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □高欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	保護者面談							
	実施							
平成30年度	実 績							
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)		
年1回実施	年1回実施。 (例年6月だったが、 緊急事態宣言にとも ない本年度は9月に 延期し実施した)					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	年1回の実施で園児に 歯磨きの大切さを指導 し、歯科の主治医を持 つ方向で保護者への指 導を行う。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	61 所管課 学務課						
事業名	歯科健診						
事業概要	61-b 小中学校歯科健診の	実施。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供□意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間では、一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法と実施	国の調査による把握						
	実施		実 績				
平成30年度			令和6年度				
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
年1回実施	年1回実施					年1回実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	学校保健安全法で定 められた事業であり 実施していくうえで課 題等はない。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

#### 今後の方向性・取組

通番	61	61 所管課 子育て相談室(こどもの発達センターつくしんぼ)						
事業名	歯科健診							
事業概要	61-c 嘱託医による歯科健調	61-c 嘱託医による歯科健診を実施。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	歯科健診及び歯科講 座実施回数							
	実施							
平成30年度	実 績							
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)		
歯科健診年2回実施 1月に保護者向けに 歯科衛生士による歯 科講座と個別指導を 実施	新型コロナウイルス 感染拡大により年1 回の実施。 歯科衛生士による講 座は時間を短縮し、 講座のみ実施。					年2回継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	歯科健診は継続して実施していく。 歯科衛生士による講座と 個別相談の時間を設ける ようにする。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	62 所管課 子ども子育て事業課(保育園)							
事業名	ほけんだよりの活用							
事業概要	公立保育園等で作成	する「ほけんだより」に	こかめちゃんぬりえを載	せキャラクターの周知	と同時に噛むことの重	要性を周知。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	おたよりの周知回数							
	実施							
平成30年度			実績			· 令和6年度 (目標値)		
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)			
むし歯予防デーと 合わせて6月号に掲 載	むし歯予防デーと合わせて、ほけんだより6月号に掲載。					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	園児及び保護者に歯の 大切さを継続的に周知 させて、むし歯を予防し ていく。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画 * の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	63 所管課 子ども子育で事業課(保育園)								
事業名	歯みがき指導								
事業概要	63-a 看護職が年長児に歯	63-a 看護職が年長児に歯みがき指導を実施。幼児には虫歯予防などの保健指導を実施。							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	保護者面談								
	実施								
平成30年度			実績			令和6年度 (目標値)			
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)				
年1~3回程度実施	9月に歯磨き週間を 設けた。2月は緊急 事態宣言にともない,歯ブラシの持参 はせず,模型を用い て磨き方の個別指導 を実施した。					年1~3回程度実施			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況			
今後の課題	歯科健診後, むし歯予防の徹底とむし歯治療 の両面から指導に努めていく。								

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		
1 22 00 - 100 100		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画 * の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	63 所管課 学務課							
事業名	歯みがき指導							
事業概要	63-b 小学校4年生を対象とした歯磨き指導の実施。							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	各学校において,秋 の歯科検診により状 況を確認する							
	未実施							
平成30年度		令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)		
年1回	未実施					年1回		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためブラッシングの指導が実施ができなかった。 学校でのブラッシングの 指導が難しい場合の対応 を検討する必要がある。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラク ターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

### 今後の方向性・取組

通番	63	所管課	子育で	て相談室(こどもの発達	センターつくしんぼ)			
事業名	歯みがき指導							
事業概要	63-c 昼食後に歯みがきを	63-c 昼食後に歯みがきを行うとともに,歯みがきの習慣をつけるプログラムを実施する。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報供 田意欲の形成 □意ないの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	限提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	利用者アンケート							
	未実施							
平成30年度	実 績							
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)		
毎日の歯磨き指導 を, 確実に実施し た。	感染防止対策を講じた上で実施した。					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	食後の歯磨きについて 家庭と連携し、習慣化す る必要がある。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

### 今後の方向性・取組

通番								
事業概要   地域の親子に保育園に来でもらい。予防的観点から健康に関する保健講話を実施。健康相談も実施。								
事業概要 地域の親子に保育園に来てもらい、予防的観点から健康に関する保健講話を実施。健康相談も実施。	通番	64 所管課 子ども子育て事業課(保育園)						
令和2年度   令和3年度   令和4年度   令和5年度   令和6年度   令和6年度   (目標)	事業名	すくすくこくぶんじ						
取組区分の実績	事業概要	地域の親子に保育園	に来てもらい,予防的	観点から健康に関する	る保健講話を実施。健康	<b>東相談も実施</b> 。		
取組区分の実績		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
上実施   未実施   実 積   令和6年度   令和6年度   令和6年度   令和6年度   令和6年度   (目標値)   (目標)   (目標値)   (目標値)   (目標)   (目	取組区分の実績	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 口意欲の形成 口スキルの習得 口仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 口意欲の形成 口スキルの習得 口仲間づくり	提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	
平成30年度 (現状値)       実績       令和6年度 令和6年度 (実績値)       令和6年度 (目標値)         新型コロナウイルス 感染症流行のため、 未実施。       年1回程度         各年度末までの 進捗状況評価       評価なし       後期終了時(令和元年度)の達成状況 況         今後の課題       新型コロナウイルス感 染症流行の動向を見ながら、実施可能になっから、実施可能になった。 は合こは周知方法を 工夫しながら継続実施 する。       がら、実施可能になった。 は合こは周知方法を 工夫しながら継続実施 する。		アンケート						
中成30年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 (目標値) 新型コロナウイルス 感染症流行のため、未実施。 年1回実施 評価なし 後期終了時(令和元年度)の達成状況評価 新型コロナウイルス感染症流行の動向を見ながら、実施可能になった場合には周知方法を工夫しながら、実施可能になった場合には周知方法を工夫しながら、機続実施する。		未実施						
(現状値)     令和2年度     令和3年度     令和5年度     令和6年度 (実績値)       新型コロナウイルス 感染症流行のため、 未実施。     年1回程度       各年度末までの 進捗状況評価     評価なし     後期終了時(令和元年度)の達成状況 況       今後の課題     新型コロナウイルス感染症がら、実施可能になっから、実施可能になっから、実施可能になった場合には周知方法を工夫しながら継続実施する。     での達成状況 の達成状況	TI #20 # #							
原染症流行のため、   未実施。		一 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
今後の課題       評価なし       後期終了時(令和元年度)の達成状況評価         新型コロナウイルス感染症流行の動向を見ながら、実施可能になった場合には周知方法を工夫しながら継続実施する。       た場合には周知方法を工夫しながら継続実施する。	年1回実施	感染症流行のため、					年1回程度	
染症流行の動向を見な がら、実施可能になっ た場合には周知方法を 工夫しながら継続実施 する。		評価なし					元年度)の達成状	
[X H2] T(D) D() D	今後の課題	染症流行の動向を見ながら、実施可能になった場合には周知方法を エ夫しながら継続実施						
		後期計画/D0   D	6) 10					

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

### 今後の方向性・取組

通番	65	所管課	子	育て相談室(子ども家)			
事業名	①職場体験 ②センターまつり ③クリスマス会 ④小学生社会科見学						
事業概要	①国分寺市立中学校職場体験受け入れ(各学校2名程度) ②親子参加型のフリーマーケットや,地域活動の一環としてのイベント。ボランティアおよび多世代の交流 ③地域のボランティアによるイベントおよび多世代との交流(午前・午後2回実施) ④第二小学校三年生全クラス参加						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円)	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (共 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	利用者アンケート						
	実施						
亚代加东南	実 績						
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
①中学校2校各3日 間 ②③④1回実施	①②④新型コロナウイルス感染症対策により、ボラナイアの受け入れを中止。 ③イベントとしての開催にではなく、日常の活動の中で読み聞かせを行うなど、自生グルーブの受け入れを行った。					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	感染症対策に伴うイベント中 止などのため、地域との交流 の機会を作ることができな かった。今後、感染症対策を 講じた上での地域交流の手 法等について、検討していく 必要がある。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

### 今後の方向性・取組

通番	66	所管課		子育て相談	5 安			
事業名	ファミリー・サホート・セ	ファミリー・サポート・センター事業の広報活動						
事業概要	市内の親子ひろばで、	市内の親子ひろばで、事業広報と会員拡大のための登録手続きも合わせて実施する。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	親子ひろばでの登録 手続き数							
	実施							
平成30年度			令和6年度					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)		
年26回実施(3〜4 か月児健康診査24 回,親子ひろば2 回)	年2回実施 (新型コロナ感染症拡 大防止のため健診会 場では実施できず, 24回中止)					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	コロナ禍においても会員 増加が図れるようにする 必要がある。会員数が減 少しており、援助会員の 拡大が必要。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

#### 今後の方向性・取組

通番	67 所管課 健康推進課							
事業名	出前講座							
事業概要	67-a 地域の団体からの健康講座の依頼に対して,保健師・栄養士・歯科衛生士が出向いて講座を実施する							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■えキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□ 口知識習得・情報提供 □ 意欲の形成 □ スキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	講座の受講者に対し てアンケートを行う							
	実施							
平成30年度		令和6年度						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)		
年5回実施	年7回実施					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	引き続き、要望に合った 講座の開催をしていく。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

Ī	指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
	お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
	『地域活動やボランティア活動等について知 らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

#### 今後の方向性・取組

通番	67 所管課 子ども子育て事業課(保育園)							
事業名	出前講座							
事業概要	67-b 健康推進課の親支援	67-b 健康推進課の親支援グループ時に保育,手遊び,ふれあい遊びを通して母の不安軽減と母子の愛着促進を促す。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	実施回数							
	実施							
平成30年度		1	実績	1	1 A	令和6年度 (目標値)		
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)			
月1回実施	月1回実施(新型コロナウィルス感染予防対策のため4~6月は中止) 全9回実施、3回中止					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	地域のつながりを強化 する方法を精査し、促し ていく必要がある。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

#### 今後の方向性・取組

通番	67	所管課		高齢福祉	課		
事業名	出前講座						
事業概要	67-c 健康づくりや介護予防に資する,地域課題に基づいた内容の出前講座を開催する。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	開催状況把握						
	実施						
平成30年度		令和6年度					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
地域包括支援セン ターと連携して、出 張講座を34回実 施。	地域包括支援センターと連携して、出張 講座を2回実施。					地域包括支援セン ターと連携して継続	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	   目標どおり進行して   いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	依頼者の希望に基づき 講座内容を決定する が、健康づくりや介護 予防の視点も盛り込み ながら事業を実施して いく。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

#### 今後の方向性・取組

通番	68 所管課 協働コミュニティ課							
事業名	自治会·町内会連絡会							
事業概要	協働コミュニティ課で把握している125の自治会・町内会を対象として、連絡調整及び情報提供を行う。							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け血づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	出席者へのアンケー ト							
	未実施							
平成30年度			実 績			令和6年度 (目標値)		
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)			
市内2か所で年3回, 計5回開催(第3回は 講演会形式で1回の み)	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため, 書面による代替 開催。					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	高齢化により、自治会・ 町内会の運営が困難 になっているため、多 角的な支援の手法につ いて研究していく。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		
平皮/の収租		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

#### 今後の方向性・取組

通番	69	所管課協働コミュニティ課					
事業名	地域センターまつり(5館)						
事業概要	子どもから高齢者までを対象に地域センターまつりを実施する。ダンスや健康体操などの利用団体が日頃の活動の成果を発表するとともに、地域センターの利用が少ない世代も含め、多世代交流の場とする。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □ スキルの習得 ■ 仲間づくり □ 受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	実施回数等の把握						
	実施						
平成30年度		令和6年度					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
各館年1回継続実 施(5館)	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のた め, 開催中止。					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況	
今後の課題	実施主体である利用者 協議会との協力体制を 維持し、必要な支援を 継続していく必要があ る。						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

### 今後の方向性・取組

通番	70	所管課	所管課 協働コミュニティ課					
事業名	地域センターだよりの	発行協力 発行協力						
事業概要	内藤地域センター利用	月者協議会の広報紙系	そ行に協力し、利用団体	本の活動を広く地域に	紹介する。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	発行回数の把握							
	実施							
平成30年度	実 績							
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)		
年1回発行(内藤地域 センター利用者協議 会) 年4回発行(西町プラ ザ利用者協議会)	新型コロナウイルス 感染拡大防止に伴い、地域センターだよりの発行主体である 利用者協議会が開 催されなかったため、 未実施となった。					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況		
今後の課題	実施主体である利用者 協議会との協力体制を 維持し、必要な支援を 継続していく必要があ る。							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する								
施策の方向性	3-2地域での健康	<b>受づくり活動の支援</b>							
施策の目標	スポーツ活動や市	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす							
	指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)		考え方				
	_	-	-		_				
			今後の方向性・取締	· 相					
団体同士の交流機援します。	養会の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信		ー 健康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	<b>見と連携しながら支</b>			
通番	71	所管課		高齢福祉	<del></del> 課				
事業名		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
事業概要	介護予防·日常生活支	 5援総合事業の中で <i>の</i>	連携を進める。						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	意見交換会にて活動 内容の把握								
	実施		実績						
平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)			
	介護予防に資する住 民運営活動団体との 意見交換会を書面開 催にて行った。					継続して実施			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和 元年度)の達成状 況			
介護予防・日常生活支援 総合事業の担い手や介護 予防推進員と住民連営活 奇後の課題 動団体をはじめとした活動 の場との効果的なマッチン グ方法について検討を進 める。									
	後期計画(R2~R) 取組に対する評		期計画(R2~6)の取約	<b>且手法に対する評価を踏ま</b>	まえ, 次期計画に反映すぐ	べきこと			
後期計画(令和2〜令 年度)の取組		100							

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する					
施策の方向性	B 3-2地域での健康づくり活動の支援					
施策の目標	策の目標 スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす					
	指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)		考え方	
	_	-	-		-	
			今後の方向性・取組	ā _		
団体同士の交流材 援します。	機会の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信	など,地域における優	建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	引と連携しながら支
通番	72	所管課		協働コミュニラ	<u></u> ティ課	
事業名	地域センター登録団体	*の管理				
事業概要	地域センター6館を利り	用する登録団体の情幸	最を管理し,要望に応し	じて当該団体の了解の	もと公開する。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	登録団体数等の把 握					
	実施					
平成30年度		T	実績	1	人和人在中	令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
随時実施	実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	活動する人を増やす手法 の一つである団体情報の 公開について、その形態 や公開を希望しない団体 への対応等を引き続き、 検討する必要がある。					
	後期計画(R2~R		 期計画(R2~6)の取組		 kえ. 次期計画に反映す <sup>,</sup>	べきこと
後期計画(令和2~令 年度)の取組	取組に対する評	価			75, 74MII — 1-2207	

_								
	基本目標	3 地域の中で健	3 地域の中で健康づくりを活性化する					
	施策の方向性	3-2地域での健身	3-2地域での健康づくり活動の支援					
	施策の目標	スポーツ活動や	市民活動を行って	いる	団体(人)を増やす			
		指標	平成30年(現	状値)	令和6年(目標値)		考え方	
		_						
					今後の方向性・取約	SFI		
	団体同士の交流機 援します。	機会の提供や, 団体の	)活動情報の提供・	· 発信		建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	型と連携しながら支 と連携しながら支
				_		14 kg = 1		
	通番	73	所管課			協働コミュニラ	<i>テ</i> ィ課 	
	事業名	利用者協議会						
	事業概要	地域センターの利用	団体の交流及び議	<b>鯐論</b> σ	り場として開催される利	利用者協議会に参加・補	甫佐する。 	
		令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
	取組区分の実績	□知識習得・情報提供 供□意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		□知識習得・情報提供 (世間では、一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
	モニタリング方法 と実施	利用者協議会の開 催回数の把握						
		実施						
	平成30年度				実績	1		令和6年度
	(現状値)	令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
		利用者協議会を実施 した。(3館)	i 					継続して実施
Γ	「働き盛り」世代等 への取組			<u>-</u>				
	各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。						後期終了時(令和6 年度)の達成状況
利用者協議会の機能 及び在り方について、 研究していく必要があ る。								
_		後期計画(R2~F	<del></del>	34	, +n=1==/po, c)	ロインナル・サフラックエナのメー	+- \5##=\\\\\	s-1.
後	後期計画(令和2~令 年度)の取組	取組に対する記		後	期計画(R2~6)の取組	<b>目手法に対する評価を踏ま</b>	Eえ, 次期計画に反映す。 	べきこと

基本目標	3 地域の中で健康	東づくりを活性化する					
施策の方向性	1性 3-2地域での健康づくり活動の支援						
施策の目標	スポーツ活動や市	市民活動を行っている	 団体(人)を増やす				
	 指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)		 考え方		
	The second		12 12 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		21212		
		_	_				
			今後の方向性・取組	<u> </u>			
団体同士の交流機援します。	養会の提供や、団体の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	活動情報の提供・発信	など、地域における優	建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	まと連携しながら支	
通番	<b>★</b> 74	所管課		協働コミュニラ	<u></u> ティ課		
事業名	市民活動フェスティバ	ル					
事業概要	地域で活動する様々な			そ・団体に発信していく。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	参加者アンケート						
	未実施						
平成30年度		実 績					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
年1回開催	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のた め中止					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組	未実施						
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
	コロナ禍においても実施できるよう開催方法を工夫する。						
	後期計画(R2~R6		期計画(R2~6)の取紙	 且手法に対する評価を踏ま	<b>上え 次期計画に反映す</b>	ベきこと	
後期計画(令和2〜令 年度)の取組	取組に対する評	<u>価</u>	ALL CAMPAIL	1 1 M(-N) 7 OH   M(-E) H 6	V. AMITOLOGY	722	

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する					
施策の方向性	性 3-2地域での健康づくり活動の支援					
施策の目標	スポーツ活動や市					
	指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)		考え方	
	_	-	-		-	
			今後の方向性・取約	FI		
団体同士の交流が援します。	機会の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信		建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	<b>慰と連携しながら支</b>
通番	75	所管課		スポーツ振り	<del></del> 興課	
事業名	スポーツ登録団体の管					
事業概要	スポーツ登録団体の登	登録・受付を指定管理	者が行う。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	指定管理者が窓口で 適宜利用状況等を確 認している					
	実施					
平成30年度		T	実 績 	T	】 △₹⊓6年度	令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
スポーツ登録団体数442団体(うち10団体は平成26年度に小平市と締結した体育施設相互利用協定に基づく登録団体)(平成30年度末現在)	協定に基づく登録団					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	登録後の利用頻度に差があることから、団体登録のメリットを周知し、継続的な団体利用を促していく必要がある。					
	後期計画(R2~R) 取組に対する評		 期計画(R2~6)の取組	1手法に対する評価を踏ま	 まえ,次期計画に反映す^	べきこと
後期計画(令和2~令 年度)の取組		<u> </u>				

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する						
施策の方向性	向性 3-2地域での健康づくり活動の支援						
施策の目標	り目標 スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす						
	 指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)		 考え方		
	_	-			-		
			今後の方向性・取約	A			
団体同士の交流を援します。	幾会の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信		重康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関		
通番	44(再)	所管課		健康推進	 課		
事業名	    体育館等個人開放・B	 団体貸出し					
事業概要	44-a いきいきセンター管理	理営(指定管理)し、1	5民の健康増進活動 <i>の</i>	)場を提供する。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	指定管理モニタリン グチェック及び利用 者アンケート						
	実施						
平成30年度		1	実績	1	1	令和6年度	
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
いきいきセンター 団体登録数 32団体	いきいきセンター 団体登録数 32団体					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	施設利用率の向上 40~60歳代の利用率 向上						
	後期計画(R2~R	6) Ø l					
	取組に対する評		期計画(R2~6)の取組	手法に対する評価を踏ま	Fえ, 次期計画に反映す·	べきこと	
後期計画(令和2〜令 年度)の取組	和6						

_								
	基本目標	3 地域の中で健康	康づくりを活性化する					
	施策の方向性	5 3-2地域での健身	3-2地域での健康づくり活動の支援					
	施策の目標	スポーツ活動やア	市民活動を行っている	団体(人)を増やす				
		指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)		考え方		
		_	-	-		-		
l				今後の方向性・取約	AH			
	団体同士の交流が 援します。	機会の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信		建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	<b>退と連携しながら支</b>	
	通番	44(再)	所管課		スポーツ振り			
	事業名	体育館等個人開放・団						
	事業概要	44-b 市内体育施設を維持 <sup>9</sup>	管理し,市民に活動の	 )場を提供する。				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
	取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
	モニタリング方法 と実施	施設利用者へのアンケート調査						
		実施						
	平成30年度		T	実 績	1	令和6年度	令和6年度	
	(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(実績値)	(目標値)	
5	3施設 市民スポーツセン ター, 市民ひかりス ポーツセンター, 市 民室内プール)	3施設 (市民スポーツ センター, 市民ひかり スポーツセンター, 市民室内プール)					継続して実施	
Γ	「働き盛り」世代等 への取組							
	各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
	今後の課題	新型コロナウイルス感 染症対策及び施設の 老朽化対策適切に行 い、安全なスポーツ環 境を提供する必要があ る。						
		後期計画(R2~R			11手法に対する評価を踏ま	よう 次期計画に反映す	ベキーレ	
後	後期計画(令和2~令 年度)の取組	取組に対する評		期計画(KZ~0)の4X和		(元, 火朔計画に以吹す	Verc .	

	基本目標	3 地域の中で健康	東づくりを活性化する				
	施策の方向性	5 3-2地域での健康	そうで				
	施策の目標	策の目標 スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす					
		指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)		考え方	
	_		_	-			
	団体同士の交流材 援します。	機会の提供や,団体の	活動情報の提供・発信	今後の方向性・取約	建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	関と連携しながら支
	通番 44(再) 所管課 公民館課						
	事業名	体育館等個人開放・日					
	事業概要	44-c 公民館施設の貸出し					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取	取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
٠	モニタリング方法 と実施	利用者懇談会					
		実施		中结			
	平成30年度 (現状値)	令和2年度	令和3年度	実績 令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)
	24,890件 身体活動・運動で D内訳利用数は不 明)	13,041件 (身体活動・運動での 内訳利用数は不明) 新型コロナウイルス 感染拡大防止のた め、4月~6月末まで 休館,以降夜間貸出 中止				(3.1)(1.2)	25,000件
Γ	働き盛り」世代等 への取組						
	各年度末までの 進捗状況評価	大幅に取組が遅れている。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
	新型コロナウイルス感染 症対策による臨時休館の ため利用件数が昨年度 の58%に留まった。						
	後期計画(R2~R6)の  後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと						
後	送期計画(令和2~令 年度)の取組	取組に対する評		:郏計画(ΚΖ~6)の収組	1 <del>ナ 広</del> に刈 9 <b>る</b> 評価を踏ま	ĸん,火朔計圏I〜及映す・	N326

基本目標	3 地域の中で健康	<b>東づくりを活性化する</b>				
施策の方向性	5-2地域での健康	そづくり活動の支援				
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす					
		平成30年(現状値)	令和6年(目標値)		 考え方	
	_	-	-		-	
今後の方向性・取組						
団体同士の交流権援します。	機会の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信		_ 建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	関と連携しながら支
通番 44(再) 所管課 地域共生推進課						
事業名	体育館等個人開放・国	 団体貸出し				
事業概要	44-d 福祉センターの貸出し	<b>*</b> 0				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	指定管理者による利 用者アンケート					
	実施					
平成30年度		l	実績	1	令和6年度	令和6年度
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(実績値)	(目標値)
3,348件 (身体活動・運動で の内訳利用数は不 明)	1,664件(身体活動・ 運動での内訳利用数 は不明) 新型コロナウイルス 感染拡大防止のた め、4月~6月末まで 休館、以降夜間貸出 中止					3,400件
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	大幅に取組が遅れている。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	休館や夜間中止が続く 中でも感染防止に努め ながら、利用しやすい 環境づくりに向けて指 定管理者と協議してい く。					
	後期計画(R2~R	6)の	期計画(D2-16)の開始	3手注に対する証 <i>体を</i> 吹き	よう 次期計画に左姉子	ベキーレ
後期計画(令和2~令 年度)の取組	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価 後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと を期計画(令和2~令和6 年度)の取組					^=C

基本目標	基本目標 3 地域の中で健康づくりを活性化する						
施策の方向性	上 3-2地域での健康	₹づくり活動の支援					
施策の目標	施策の目標 スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす						
	指標	平成30年(現状値)	平成30年(現状値) 令和6年(目標値) 考え方				
	_	-	-		-		
今後の方向性・取組							
団体同士の交流権 援します。	機会の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信			活動を様々な関係機関	目と連携しながら支	
<b>通</b> 番	通番 44(再) 所管課 協働コミュニティ課						
	体育館等個人開放・5			(1)1) (3)	V -1 B/K		
事業概要	44-e 地域センター6館及び		室等の貸出し。				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	利用率等の把握						
	実施		- 4				
平成30年度			実 績 T	T	令和6年度	令和6年度	
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(実績値)	(目標値)	
全7館で継続して実施	全7館で継続して実施					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	適切な施設の管理・運営を行い、引き続き、利用を促進していく。						
	後期計画(R2~R6)の 後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと						
	取組に対する評		新計画(R2~6)の取組	1ナ法に対りる評価を踏る	r.ん, 火朔計画に反映す·	いさこと	
後期計画(令和2〜令 年度)の取組	後期計画(令和2~令和6 年度)の取組						

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

### 今後の方向性・取組

通番	76 所管課 各課(健康推進課)						
事業名	情報発信	<b>青</b> 報発信					
事業概要		「 市報、ホームページ,ツイッターなどの情報媒体を使い,対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き ぶり世代に対してインターネットの活用を充実させる。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	情報発信実施回数						
	実施						
平成30年度	実績					令和6年度	
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)	
市報, ホームペー ジ, ツイッターで情 報発信を実施	市報掲載件数 121件 ツイッター発信件数 27件					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	モバイルサービスの利 用状況の分析, 情報発 信のチャンネルを増加 させること						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.4%		特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

### 今後の方向性・取組

通番	76	所管課		各課(子ども子育つ	て事業課)		
事業名	情報発信	報発信					
事業概要		市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き 盗り世代に対してインターネットの活用を充実させる。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)	
取組区分	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	HP掲載回数						
	実施						
平成30年度	実 績						
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	
市報, ホームペー ジ, おたよりで情報 発信を実施	市報, ホームページ, ツイッターで情報発 信を実施 16回実施					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況	
今後の課題	興味を持って継続的に 閲覧するよう、掲載す る情報を工夫していく 必要がある。(児童館)						
	後期計画(R2~R	6) Ø	#=1 = (DO C) O En	~ \_\\		24-1	

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ, 次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

### 今後の方向性・取組

通番	76	所管課		各課(高齢福	· 社課)	
事業名	情報発信	·				
事業概要		ツイッターなどの情報 ターネットの活用を充		合わせて健康づくりに	関する情報を発信して	いく。若い世代・働き
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □中間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	事業の参加者へ情報源の聞き取り(アンケート)					
	実施					
平成30年度		令和6年度				
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
・市報・ホームページで情報を発信・情報提供を希望した地域の団体に対しては、必要時文書の発送を行い、情報提供を実施した。	・市報・ホームページで情報を発信 ・情報提供を希望した地域の団体に対しては、必要時文書の 発送を行い、情報提供を実施した。					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	地域住民に対する様々な情報発信ツールの活用について検討する必要がある。					
後期計画(R2~R6)の						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ, 次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

### 今後の方向性・取組

通番	76	所管課		各課(子育て相	談室)	
事業名	青報発信					
事業概要	市報,ホームページ, 盛り世代に対してイン			合わせて健康づくりに	関する情報を発信して	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	イベントや講習会の 参加者へ情報源の 聞き取り(アンケート)					
	実施					
平成30年度		令和6年度				
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)
毎月市報、ホームページ、マージ、マージ、で情報発信を実施。また、市内・幼女学・機関・医等・ボスター掲示・ポスター掲記やチラシを配架やある。	毎月市報, ホーム ページ, ツイッターで 情報発信を実施。					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	市民にわかりやすい 情報発信を心がけ る。					
後期計画(R2~R6)の						

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ, 次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

### 今後の方向性・取組

•						
通番	76	所管課		各課(社会教	育課)	
事業名	情報発信					
事業概要		ツイッターなどの情報 ターネットの活用を充		合わせて健康づくりに	関する情報を発信して	いく。若い世代・働き
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 世 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	情報の発信回数					
	実施					
平成26年度	実績					
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標値)
ツイッタ一発信回数 56回	ツイッタ一発信回数 23回					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	ツイッターを活用し 情報発信を進めていく					
	後期計画(R2~R	6) Ø	#=1=/D0 0)0=##	手注に対する評価を踏ま		.»+.=1.
			型=+I用( Rソ~6) (7) 収組	エオに対する評価を終す	- マール曲(二人) 呼ず。	ヘオ・と

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ, 次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て いる人の割合	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
	『市ホームペー ジ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

### 今後の方向性・取組

	情報集約 健康づくりに取り組む	地域活動団体や食育	に関する団体, 自主グ					
事業概要		地域活動団体や食育	に関する団体,自主グ					
	会和2年度			ループなどの情報を集	健康づくりに取り組む地域活動団体や食育に関する団体、自主グループなどの情報を集約し、市民・団体に発信していく。			
	17412千1支	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)		
取組区分 [ [ [	■知識習得・情報提供 □ 意欲の形成 □スキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □ 高欲の形成 □ スキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	事業実施回数							
	実施							
平成30年度	実績 令和6年度							
(現状値)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	(目標値)		
地区医師会など外 部団体の講演会に ついて,募集記事 の市報掲載を行っ	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため、地区医師会などが例年開催している 講演会が中止となり、市報への掲載が なかった。					健康づくりに関する 活動・団体の情報 を整理・集約し、発 信		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし					後期終了時(令和6 年度)の達成状況		
・ 今後の課題 『 言	健康づくりに取り組む 地域活動団体や食 育に関する団体、自 主グルーブ等の情報 収集							

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2〜令和6 年度)の取組		

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成30年(現状値)	令和6年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て いる人の割合	『市広報紙』 て 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
	『市ホームペー ジ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

### 今後の方向性・取組

通番	77(2)	所管課		協働コミュニラ	ティ課	
 事業名	情報集約					
事業概要	健康づくりに取り組む地域活動団体や食育に関する団体,自主グループなどの情報を集約し,市民・団体に発信していく。					信していく。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (目標)
取組区分	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケート					
	実施					
亚代00年度	宝 緒					
平成30年度 (現状値)	一 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)
・こらばdeサロン(団体交流会)開催・こくぶんじ市民活動センター登録団体情報誌発行・ホームページで情報発信	・こらぼdeサロン(団体 交流会)開催 ・こくぶんじ市民活動セ ンター登録団体情報誌 発行 ・ホームページで情報 発信					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					後期終了時(令和6 年度)の達成状況
今後の課題	様々な媒体を利用し情 報発信する。					
	後期計画(R2~R	6)の 後	期計画(R2~6)の取組	手法に対する評価を踏ま	まえ 次期計画に反映す	べきこと

	後期計画(R2~R6)の 取組に対する評価	後期計画(R2~6)の取組手法に対する評価を踏まえ, 次期計画に反映すべきこと
後期計画(令和2~令和6 年度)の取組		